

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10381	<p>原子力関連者 推進者が起こした人災事故</p>	<p>今回の原発大事故は人災の事故です 本来ならば そく東京電力、御社等、、倒産すべき会社です いつまでも上から目線 給料が一円でも出てることすら許されないのに！！ 考えの甘さ知識不足が国民の命を害したのです メールで今後の考えを返信ください！！ 反原発 反電気料金値上げ 国民に責任を負わせるな 子供の命を奪い 知識ののらない国民をだまし 安心させ作りっぱなしで 処理問題も考えないでなぜ 地震大国に原発を広げたのか？子供、将来の命の殺害者だと私は考えております お金のためなら子供 将来のたくさんの命を奪ったのです</p> <p>(削除)</p> <p>※新大綱策定会議(第1回)資料第3-2号「個人情報の保護その他について」の考え方に基づき一部を伏せさせていただきました。</p>
10382	<p>日本国内の原子力発電の稼働に反対します！ 現在休止中の原発を含め再稼働も反対します！ 全ての原発を廃炉にすべきです！</p>	<p>前回の東海原発事故や今回の福島原発事故で 日本国内が実質受けた損失はどれだけの被害を増していくのでしょうか？ 今までに受けた損失とこれから膨らみ続ける損失を合算し数字で算定しても そこに住む人達の心の中の傷まで金額算定出来るのでしょうか？ その傷さえもこれから更に増え続けて行く時にその損失も金額で解決出来るのでしょうか？安定した発電・供給は課題ですが本来絶対安定というものは世の中の 全ての事柄に絶対は有り得ないものです！ 絶対安定で安全で完璧なもの等は存在しないのです！</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10382	<p>日本国内の原子力発電の稼働に反対します！                      現在休止中の原発を含め再稼働も反対します！                      全ての原発を廃炉にすべきです！                      (続き)</p>	<p>だから原発も絶対安全で有りえる訳が無いのです！                      廃炉にするにも損失・処分するにも損失でも人の心の傷は少しは減ります！                      もう一度再考して下さい！ 原発は安定的ではありません！ 不安定です！                      原発全てを撤廃し、国内電力の細分化を行い無駄や余剰電力・省エネに方向を                      転換して下さい！ 損失金額の問題や安定した電力供給よりもこれからの                      未来の世代の事を考えて下さい！</p>
10383	<p>原発稼働の問題と、原発事故の対応について</p>	<p>今原発は次々停止しています。それは、当たり前だと。もちろんすべてなくせば企業が大変なめに合うかもしれない。であれば、国民の一般の電気量を減らしてもらっても結構です。                      また、今の放射性物質の対応についてですが、放射性物質を取り扱ううえで、大切なのは冷やす～止める～閉じ込めるが原則と聞きましたが、まだ福一は冷やすのも安定的か疑問だし、今だに全国でヨウ素やテルルが出ていることから、止められてもいない。更には、瓦礫を全国でしようしたり、稲わら、腐葉土などから閉じ込めるどころか、全国民で被曝して、痛み分けしましょうという、政府の不思議な行動は、目に余るものがあります。きちんと、考えて下さい。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10384	原子力防護委員会の継承およびリスク管理の検討について	<p>ニュースで現在の原子力防護委員会が今年度末で解散となる旨知りました。今回の福島原発事故において、原子力発電所のリスクは以前より俄然大きくなったと言えます。</p> <p>外部電源の喪失、海水供給能力の遮断が狙われることによる原子力災害を想定しなければならなくなったと言えます。</p> <p>その意味で、現、原子力防護専門委員の(削除)指摘は的確だと考えます。(削除)海外情勢にも通じ、客観的に意見できる非常に少ない人材だと思います。</p> <p>原子力防護の視点を今後も継続し持ち続けることに加え、(削除)専門委員としての登用を再検討いただきたくご意見申し上げます。</p> <p>※新大綱策定会議(第1回)資料第3-2号「個人情報の保護その他について」の考え方にに基づき一部を伏せさせていただきました。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10385	原子力発電の放棄を	<p>以前にも意見を送らせていただきましたが、再度送ります。</p> <p>多くの方が反原発の声を上げているのに、それが国の動きに繋がっていないように感じられてもどかしいです。</p> <p>目先のお金よりも大事にしたいことが沢山あります。原発で、その大事にしたい健康や命や自然や安心や平和が脅かされていると感じます。</p> <p>私は福島県出身ですが、第2の福島は決して作って欲しくありませんし、原発を動かしている限り、また「福島」と同じことがおきるのではないかという不安はなくなりません。</p> <p>地球の、多くの国と海や空を共有している日本という国の国民としても、これだけの事故を起こして地球を汚していることが、恥ずかしいです。それなのに、原発から脱却できないことは、もっと恥ずかしいです。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10386	<p>1.福島原子力事故の検証について (削除) 3.除染に関して 4.原発の安全性について 5.周辺住民の避難に関して</p>	<p>1.福島原子力事故の検証について 東京電力の主張では、地震ではなく、津波で施設が壊れたとのことですが、地震で壊れて水漏れしていたとの意見もあり、東電の主張だけではなく、検察のように事実を確認すべきではないでしょうか。 賠償にかかわる重大な件を、あえて検証せずに東電の主張を鵜呑みにするのであれば、安全委員会が刑事罰を受けることになると思いますが、その点は国民に明らかにしていただけますでしょうか。</p> <p>(削除)</p> <p>3.除染に関して 東電は除染の専門家ではなく、除染に十分な知識があると思えませんが、民間のテレビで除染の知識をもっている専門家などが実際に除染を指導しておりますが、そういった方々を中心にそういう組織を福島に派遣すべきだと思いますが、原子力委員会ではそういった行動をする予定はありますでしょうか。</p> <p>※新大綱策定会議(第1回)資料第3-2号「個人情報の保護その他について」の考え方にに基づき一部を伏せさせていただきました。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10386	<p>1.福島原子力事故の検証について(削除)                      3.除染に関して                      4.原発の安全性について                      5.周辺住民の避難に関して(続き)</p>	<p>4.原発の安全性について                      今後原発を減らしていくという国の方針ですが、これまでと同じように原発を持つ会社が出す情報を、原子力を学問でしか学んでいない発電所での実務経験のない人が、事故の際、具体的なアドバイスを出せるとは思えません。実務経験のある人を委員に入れることは考えておりますでしょうか。                      また、これまでと同じように定検などで、電力会社からの情報を鵜呑みにするのでは、同じことが起こりえます。電力会社からの情報ではなく、まったく関係のない第三者機関が調査し、安全かどうかその情報をもって調査する必要があると思いますが、今までのぬるいやり方ではいけないと思います。                      古くなった原発は随時停止していく、耐用年数が30年であればそれを守るという当たり前のことは考えておりますでしょうか。事故は机上計算や原発の耐用年数だけではなく、作業員の習熟度や地盤、腐食などによるリスクもあるので、耐用年数は守られたほうがいいのかと思います。なぜ守られていない原発が稼働しているのでしょうか。きちんと規制したほうがいいのかと思います。                      また、福島事故の前にも、何度も裁判が起こり、原発の耐久性や地盤が問題になっていましたが、原発を管理する側として、電力会社側の調査だけではなく、独自の調査は行いましたでしょうか。そういう問題が出た時点で第三者機関に依頼して検証するのが当たり前です。もし、そういった問題を電力会社に丸投げしてるとすれば、無責任としかいいようがありません。そして、それは犯罪です。</p> <p>5.周辺住民の避難に関して                      今後同様の事故が起こった場合、二度と住民の被爆は起こってはならないと考えておりますが、住民への情報伝達の仕組み、SPEEDIの迅速な公開、電力会社から周辺自治体へ直接事故を連絡し、迅速に避難できる体制は整っているのでしょうか。</p>
10387	<p>1.地下水汚染について                      2.体内からセシウム除去について</p>	<p>1.地下水汚染について                      海外の専門家(削除)が、福島原発の地下水汚染を防ぐために、原発の周りに防御壁をつくるべきといわれておりますが、検討されておりますでしょうか。</p> <p>2.体内からセシウム除去について                      (削除)体内の放射性物質を磁気で除去できる方法を見つけられたり、他にもいろいろな専門家や企業がありますが、海外の企業ばかりではなく、国内の企業は検討されておりますでしょうか。また、除染について企業・個人問わず一般に公募されてはいかがでしょうか。</p> <p>※新大綱策定会議(第1回)資料第3-2号「個人情報の保護その他について」の考え方に基づき一部を伏せさせていただきました。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10388	原子力安全委員会新大綱策定会議の構成員について 他	<p>(削除)原子力委員会は内閣府のもとにあり、この投稿ページに寄せられたたくさんの国民の声は、野田首相にも届けられるものと思います。</p> <p>野田首相、これらの声を正面から受け止めれば、原発の再稼働はあり得ません。あらゆる利権を断ち切って、日本国の首相としての脱原発の決断を期待しています。歴史に名を残す首相になって下さい。</p> <p>※新大綱策定会議(第1回)資料第3-2号「個人情報の保護その他について」の考え方にに基づき一部を伏せさせていただきました。</p>
10389	内閣府と経産省を頂点とする原子力行政にリスク管理面で重大な欠陥があったことは今や否定し得ない以上、かかる欠陥の本質と原因究明こそ急務。現体制での検討再開は場と当事者の適格性を欠くので不適當である。	<p>事故の詳細経緯はともかく、福島第一原子力事故を予防・抑止できなかった根底には日本の原子力界全体におけるリスク管理面での重大な欠陥や脆弱性があったことは今や否定し得ないと思われる。</p> <p>事業者の責任はもとよりだが、原子力事業の健全な発展と安全確保をバランスよく実現すべき法令上の使命を負う原子力行政関係者一同も、かかる欠陥や脆弱性が発生し看過されてきたことに対する当事者責任は免れまい。</p> <p>実際、こうした欠陥等の根本原因が内閣府と経産省を頂点とする原子力行政のあり方自体に発している可能性も十分考えられる。現に、今回の事故が発生するかなり以前から行政庁の指導や方針が事後規制の原則を隠れ蓑に恣意的かつ不整合となりがちであることや、権威主義的で一方通行でありその結果合理性を欠いていること、その結果として事業者の経営資源を浪費させ安全性に好ましくない影響を及ぼしていることについての指摘は原子力事業者の現場で頻繁に聞かれていたことは、客観的な第三者によるヒアリングをすれば直ちに判明することである。</p> <p>貴委員会は、原子力政策を統括して総理大臣に答申する極めて責任の重い立場にあるのだから、襟を正し、大多数の国民が納得する客観的なやり方で真摯かつ速やかに自らを含めた従来の原子力行政のあり方を検証することこそ目下最優先の使命であろう。</p> <p>そうした取組をよそに新たな大綱を作成するのは当事者適格の観点から重大な欠陥と言わざるをえず、かかる大綱は正当性が認められないから無効と判断されるであろう。</p> <p>もし、これほどの重大事故が起きてなお日本の原子力政策の中核にある貴委員会が本来の学習機能を果たして自らを厳しく省みることがないなら、痛恨事であるが、日本は原子力を利用する資格なしと考えざるを得ない。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10390	人類のおえない原発の問題 原発の順次停止、代替エネルギーへの移行の要望	核廃棄物の処理や周辺住民への影響、事故時の破局的な被害など、原発は人類のおえない技術であることは明らか。福島第一原発で引き起こされた損害や廃棄物の処理などはどうするのか、明確な方向性を打ち出すべき。それと並行して、原発の順次停止、代替エネルギーへの移行を実施するべきである。電力会社の強大でいびつな権力を弱めて、原子力委員会が自律した立場を保持することも重要。
10391	人として、その集団である所の「国家」としての信義の問題	最近語られている意見の中には概要に書いた人としてその集合体としての国家としての信義の問題を全く無視した意見があります。人は独りでは生きられないと言いますが国家も単独で鎖国して生きて行かれる時代ではないです。むしろ逆に現代社会は国家同士他人同士が行う事の影響が互いに互いの生活に影響し合い地球全体の環境にまで影響を与えてしまう事を懸念される時代です。その事と福島第二原発事故で起こった多大なる社会への悪影響を踏まえれば日本と言う国家は原発を早期に完全廃止しなければならないし原発を存続させたい理由として『潜在的な核の抑止力』などという事は絶対に言うてはなりません。何故なら過去数十年間第二次大戦直後から核兵器の非人道的被害を訴え核兵器の廃絶を希望すると言明してきた国家なのですから。非核三原則に反する密約の問題と日本人と日本国という国家が核兵器を容認するという事ではその意味する事の重さが全然違います。一日でも早い「原発の廃絶宣言」を望みます。
10392	古い原子炉から順番に、ひとつひとつ経験を蓄積しながら廃炉していきましょう。	ほかにとりわけ画期的でスマートで天才的でエレガントで波風のたたないような方法もないでしょうから。



国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10393	<p>原発を推進してきた人達の無能さを福島原発事故で目の当りにし、こんな人達に国民の人生が左右される事のばかばかしさを痛感した。 すべての原発を即刻廃炉にして、核のゴミを子孫にこれ以上増やしてほしくない。</p>	<p>福島原発事故が起きて改めて日本における原子力発電のでたらめさを知りました。原発を危険だと言ってきた人達の言葉に聞く耳をもたず、排除し、お金で魂を買うような行為で原発を推進してきた日本の原発推進の歴史の汚さ。その言葉巧みに推進してきた人達が今回の福島原発事故が起きた要因を作ってきた無能さを知り、事故は起こりべくして起こったんだと納得しました。推進する事でお金を貰い、国民の、人の、命よりも自分達の私腹を肥やすような人達を作ってきた原発に将来はありません。再び事故が起こると思うリスクから逃れられない生活をなぜ国民に強いるのか理解できません。電気をこんな危険なリスクを持ち続けながら発電するより、安全な方法で発電するやり方に舵をとるのが、福島の教訓だし当たり前の事です。原発は日本人の推進の仕方によって、麻薬のようになってしまいました。推進派はまるで麻薬患者です。もうこんな不健康な事に国民はうんざりしています。原発推進者と国は目をさまして下さい。放射能は原発推進者にも彼らの大事な子供達にも等しく降り注いでいる事をもっと真剣に考えなさい。子供にお金を残しても、その子供は放射能に汚染されて癌で死んでしまうかもしれないのですから。 この新大綱策定会議で福島原発事故の要因を作った無能な原発推進者達がこれからの原発について推進を直、押し進めるような言葉は国民にとってなんの意味も持たない事を言うておきます。それは恥ずかしいただの奢りです。</p>
10394	<p>事故調査は、福島第一だけでなく、震災と津波の影響を受けた、他の原発にも行うべきだ。</p>	<p>東日本大震災による津波の影響で起きた福島の原発事故により、日本の原発は全て、ああした事故を起こす可能性があるとの印象が世間に植え付けられてしまった。しかし、同様に地震や津波の被害に遭遇した女川や福島第二は無事である。真相は素人には分からないが、古く、米国製の原発(福島第一)が事故を起こし、比較的新しく、日本製の原発(女川、福島第二)は無事だった、ということではないか、と感じる。であれば、わが国の殆どの原発の安全性は、既に証明されたとも言えるのではないか。  遠い将来はともかく、新エネルギーに多くを期待できない現状では、当面、日本経済にとって原子力発電は必要であり、安全を確認できた炉から順次、運転を再開すべきである。そのためにも、事故を起こした発電所だけでなく、事故を起こさなかった他の原発も調査し、何故事故にならなかったかを、福島第一との比較検証を通じて究明してもらいたい。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10395	一刻も早く全ての原発を速やかに廃止する原子力政策としてください。	<p>福島第一原発事故で汚染され、地震大国日本でありながら原発がまだ11基も稼働している日本には、かつてのように外国人は来なくなつた。</p> <p>日本製品は買ってくれなくなった。</p> <p>それは、日本国・日本人が信頼できないからだ。</p> <p>地震大国でありながら原発を採用している日本国・日本人の価値観が信頼できないからだ。</p> <p>安全でない原発を安全だと信じてきたし、信じ続ける日本国・日本人が信頼できないからだ。</p> <p>原発は地震発生大国の日本には向いていない。</p> <p>原発を廃止して、初めて、外国人の信頼を取り戻せる。日本の将来が確保できる。</p> <p>54基の内、11基しか稼働しなくても、夏を乗り切れた。原発無くても大規模停電はしない。電力制限をしたら十分対応できる。</p> <p>原発製電力を大量消費しながら、福島第一原発事故級の事故を起こす可能性が高い国にはデメリットが多いから、世界から見放され、国も人も衰退していくよりは、原発を廃止し、電力制限で困難を迎えたとしても、次々に自然エネルギーを軌道に乗せこのピンチをチャンスに換えられて、初めて、日本人・日本国は信頼を取り戻せる。</p> <p>以上のことから、一刻も早く全ての原発を速やかに廃止する原子力政策としてください。</p>
10396	全ての原子力発電の即時全面停止・永久廃炉を求めます。金より命です。電気料金が2倍3倍になっても構いません。ガスコンバインドをはじめあらゆる代替エネルギーにより原発分を入れ替えすべきです。	<p>「フクシマの事故により、がんの危険率はせいぜい0.5%くらいしか上がらない」との専門家の国会答弁がありましたが、0.5%では今の国民の20万人以上がフクシマ原発のせいでがんになるということではありませんか？</p> <p>(1億3千万人のうち4千万人ががんで死ぬとして、その0.5%は20万人です)。0.5%と聞くと少なそうですが、20万人と聞くととんでもない被害なのではないですか？国土も食料も汚染され、今後も若者をはじめいいようのない不安にさいなまれながら、少しばかりの小金を持っていったい何になるのでしょうか。ドイツ、イタリア、オーストリア、スイスに続くべきです。いえ、巨大地震のリスクが永遠にある日本は1国だけでも世界で最も原発をつくつてはいけない国だと思います。数十万年も核廃棄物を抱え込むのは、この地震大国の狭い国土では無理です。それより戦略的輸出産業、先端産業として、他のエネルギーの先端技術大国を目指しましょう！</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10397	<p>原発は安全性が確認されたものから、順次再稼働させるべき。古くて比較的安全でない原発があって、対策にコストがかかるなら、廃炉も止むを得ないが、安全性の高い新規原発の設置も地元の要求に応じ行なうべきだ。</p>	<p>(1)脱原発は非現実的。再生可能エネルギーは高コストが明白。財政危機・少子高齢化が深刻で東日本大震災で痛手を被った日本が大規模に導入できる余裕はない。お天気まかせで、需給を一致させることが難しい点も非現実的と言える。火力を増やすと化石燃料高を招くという構造的問題がある。実際問題、緑の党など反原発運動の影響濃い欧州でも脱原発に成功した試しがない。</p> <p>(2)脱原発は高コスト。今、火力が原発の穴を埋めているが、燃料費が兆単位でかかるらしい。原発のバックエンドコストに比べても燃料費は高すぎる(日本エネルギー研究所8月31日「【大地震・エネルギー政策見直し関連情報】有価証券報告書を用いた火力・原子力発電のコスト評価」参照)。また、火力は大量に廃棄物(CO2・亜酸化窒素・ヒ素)を出しており、環境意識の高まりと共に、今後劇的にバックエンドコストがかかる可能性が高い。新興国の発展による資源高も現実的なコストアップ要因だ。原発の初期コストは高く、建設済みの原発を稼働させないのは不経済極まりない。</p> <p>(3)原発はエネルギー安全保障に寄与する。火力(化石燃料依存)は資源の少ない日本の国益に合致しない。高速増殖炉は世界各国で研究が進められており、原発は劇的に日本のエネルギー安全保障を向上させる可能性が高い。脱原発で技術を切らせれば、後で元に戻せる見込みもない。</p> <p>(4)冷静な政策検討そのものが日本の国益。放射能の恐怖は明らかに誇張され、風評被害の損害は測り知れない。対策としては、冷静な政策検討しかない。安全対策が不十分だったから事故は起きた(今度の大地震でも女川・福島第二は問題なかった)のであり、原発に正面から向き合い安全性は安全性として冷静に検討する姿勢は、原発のみならず、日本の安全を高める姿勢だと言える。不安だから廃止と安直に煽る姿勢と決別するべきだ。逃げは解決にならず、政策は原発だけではない。</p>
10398	<p>98%が原発否定派という誤解を招く報道について</p>	<p>今日、「原子力委員会に寄せられた意見の98%が原発否定派だった」という報道を見ました。そもそも原発肯定派はわざわざ原子力委員会に意見を言わないことが多いわけです。それをあたかも世論の98%が原発否定派であるかのように報道することに恣意性を感じます。誤解を招かないようなフェアな情報発信を強く求めます。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10399	<p>デメリットを考えてもなお原発は日本経済に必要不可欠である。</p>	<p>代替エネルギー案を提示しない原発反対という意見に強い憤りを感じる。                      日本経済を維持するためには電力は欠かせない。原発を廃止するのであれば安価で十分な量の代替エネルギーが必要である。                      経済発展(維持?)と財政再建という板挟みに立っている日本にとって、大幅なコスト増は容認できない。                      火力を増やすにしても、代替新エネルギーを開発するにしても莫大なコストがかかるうえ、新エネルギーでは十分な量をまかなうことはできない。                      大きな技術革新が起き、安価で十分な量をまかなうことができる代替エネルギーが開発されるまでは、原発は必要不可欠である。                      原発を否定すれば、子や孫の世代に莫大な経済負担を強いることになる。</p> <p>地元住民の反発が強いのであれば、税制優遇等を拡大すればよい。地域限定であれば財政負担も小さい。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10400	<p>政府が原発事故の責任を100%東京電力に転嫁しようとしていることに対し、強い憤りを感じる。</p> <p>政府は90-99%減資によって東京電力を国有化し、責任をもって損害賠償を全うすべきではないか。</p>	<p>原子力政策は政府と各電力会社が共同で進めてきたものである。</p> <p>ところが、事故が起きてみると政府は世論を盾に責任を100%東京電力に転嫁しようとしている。「政府の負担＝国民の負担」であることを強調し、「国民負担を最小限にする」というスローガンのもと。</p> <p>東京電力にも落ち度はあっただろうが、国民の感情を利用し、政府があたかも被害者であるかのようにふるまっていることに違和感を感じざるを得ない。</p> <p>政府も大きな責任を負っていることを明確化し、東京電力とともに損害賠償等の責務を全うすべきだと思う。</p> <p>具体的には、90-99%減資による東京電力の国有化を提案する。</p> <p>100%減資ではなく、90-99%としたのは政府の責任を明確化するため。</p> <p>その後、徹底したリストラ、体質改善、料金値上げによって利益を生み、損害賠償に充てる。ただ、そこにはキャッシュフローのタイムラグがあり、それには銀行等、債権者のサポートが必須。長期にわたりそれを実現するためには政府の保証が必要不可欠であるため、国有化が最善と考える。</p> <p>「債権者にも負担を」という枝野氏の発言は感情論であり、現実的ではないように思う。債権を毀損すれば追加貸付は難しくなり、キャッシュが回らなくなる。他電力の資金調達も困難になり、債券市場は混乱、リーマンショック時のような大きな金融不安・金融不況が日本を襲うことになるのではないか。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10401	<p>新聞報道では、貴委員会は福島第一事件以降も同じ原発推進派ばかりの顔ぶれとのこと。国民の税金を報酬受領する以上旧委員は福島事件責任取り全員辞職し60～70%の委員は脱原発世論反映する識者に入替えよ。</p>	<p>福島第一原発事件以降、国民の原子力に関する総意は圧倒的に多かれ少なかれ脱原発である。今般の福島第一原発事件は、一義的に安全委員会や保安院や東電の責任は追々刑事・民事両面から徹底的に国民の前で糾弾されなくてはならない。原子力委員会も、これまで国民の税金で報酬を受けながら国民に真実を知らさずおめおめと一方的な原発推進の片棒を担いできた責任は同様にきわめて重い。関係者一同はこのような結果を厳粛に「心から反省」し現任の原子力委員は全員総辞職し、その後新たな国民世論の比率(脱原発は60～70%というのが世論調査の結果である)を反映するように、優れた専門家の顔ぶれ(特に原発反対してきた京都大学等の優れた学者で不当に冷遇されてきた先生方も含む)に入れ替えよ。ド素人の宣伝用委員は全て退任するのが当面の責任の取り方であろう。電気が足りないという話は今夏の節電狂想曲で原発なしでも全く問題ないことは国民大多数の知るところであり、また原子力安全委員会は2006年5月19日の「原子力安全基準・指針専門部会の耐震指針検討分科会」で原発耐震審査指針において「残余のリスク」＝「地震で原発が壊れる」ことを前提・念頭において審査指針策定をすることを認めおり、この耐震構造はM6以上は担保していない現状下、これがM9の震度及び15M以上の津波に耐えるよう「徹底的に安全を確認・検証」するまでの原発再稼働は何十年かかろうと決してあり得ないことを肝に銘じよ。</p>
10402	<p>(1)原発に批判的な人も含めて第3者的規制機関の設置を急いでほしい。(2)期限を区切って原発からは撤退すべき</p>	<p>(1)福島事故はまだまだ収束の道が見えない。現状がどうなっているのかさえ国民には十分情報が与えられていない。保安院や安全委員会任せでは国民は安心できない。「村」と言われる人たちだけではなく、広範な専門家の知見を結集する体制を作るべきである。(2)今度福島のような事故がおきれば日本は再起できなくなるのではないか。多くの子どもたちが被曝の恐ろしさから身を守ることさえできなくなってしまうかねない。列島が地震活動期に入った今、どこで事故が起きるかわからない。浜岡や若狭のように震源や活断層に近い原発、30年40年の老朽化原発はただちに永久停止、廃炉にすべきである。最終的には原発に頼らないエネルギー社会をめざすべきである。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10403	原子力エネルギーの拡大・存続を希望します	<p>資源の少ない日本において、原子力という比較的少ない資源でエネルギーが確保できる手段は非常に重要だと思います。また核燃料サイクルが実現すれば国産エネルギーを確保できることとなります。現在は福島事故のため原子力の悪い点ばかりがクローズアップされていますが、除染や廃棄物の処理等の問題は技術革新で必ず乗り越えられる壁だと思います。100年前にこれほど高度な原子力エネルギーが実現できるとは誰も考えていなかったはずで、現時点の私たちの知見で未来を測ることほど愚かなことはないと思います。また、今まで原子力エネルギーを開発してきたのは、先の大戦の原因となった国内資源の不足を解消するためであったはずで、この大きな目標を見失ってはならないと思います。</p> <p>視野の狭い短期的な見方で原子力を失うことは国家にとって取り返しの付かない損失だと考えます。</p>
10404	原発は即刻止めるべきだと思います。	<p>原発は、ウラン燃料発掘から害が出ています。事故が起これば、自国の被害は甚大なものがある。今現在も福島原発の状態が誰もわからない。他国にまで迷惑がかかる。最終処理も埋めるしか術がない。技術的にも自然エネルギーの最先端の日本の地位を低くしてしまっている。地球温暖化まで疑う学者がいる中、人間と原子力は共存できない。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10405	原子力発電と他の発電方式のコスト算定について	原子力発電の発電単価コスト見直しですが、他の発電方式と同じ土壌での算定をして欲しいと考えます。原子力発電には核燃料サイクルも含めるというのであれば、石炭・石油火力は炭鉱・油田の採掘から輸送費、NOx・SOxの処理まで含めることで同等と思います。LNGも同様です。また自然エネルギーや再生エネルギーによる発電であれば、原子力と同等にするため、40～60年でのライフサイクルコストの算定、欧米・特に欧州でよく見られる数年に1回の地域停電による経済損失なども含めて、初めて同等と考えます。また、核燃料サイクルは原子力発電のためだけにあるのではないため、将来の鉱物資源に乏しい人工レアメタル資源としての有効性を勘案すべきと考えます。そもそも放射性廃棄物の地中処分を100万年も維持できる自然災害の多い国土ではなく、例えばそう遠くない宇宙開発技術の進展での月面等の宇宙保管なども考えられると思われます。



国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10406	<p>原子力委員会は従来の原子力行政に事故の根本的背後要因が潜んでいないか徹底して自省し検証することこそ最優先の使命。コスト試算や推進・縮小の方向性検討等はその後で時間をかけて慎重に検討すべきだ。</p>	<p>原子力発電の包括的ライフサイクルコストを改めて試算すべきと主張するのは結構だが、実施に要するであろう膨大な時間と労力に見合う効果があるか甚だ疑問と言わざるを得ない。例えば技術イノベーションの可能性や量産効果、社会的コストの上昇、エネルギー自給率への影響とその経済的波及、政策転換に伴う社会的・政治的コストなど、それ自体不確実であるばかりか密接な相互作用を有する要因が多数存在する中で、しかも僅か1年で、どうやって意味のある試算ができるかと考えるのが全く理解しがたい。所詮数字合わせゲームに終始するのがオチである。</p> <p>従来もこうした付加価値の薄い仕事のために原子力関係者の貴重な経営資源が多く浪費され、それにより失われた本質的な思考と学習がリスク管理の重大な脆弱性をもたらしたことこそ福島第一原子力事故の背景要因と強く疑われるところである。</p> <p>確かに極めて衝撃的な事故が起きたのだから、大多数の国民が感情的に反応して原子力を止めると騒ぐのも理解できぬことはないが、核分裂性物質とその崩壊熱が魔法のように消滅するわけでない以上、まずは今ある原子力の安全性をきちんと検証し安全確保のために万全を尽くすことこそ原子力委員会にとって責任ある立場での合理的な行動の筋道だろう。不合理な感情論に流されてポイントを見失ったり安全を損なう結果につながる行動に走らぬよう、理性的な対応を願う。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10407	<p>原子力発電所はあまりに、危険過ぎることがよくわかりました。いまある発電所は停止、自然エネルギーへの転換の計画をたてて、実行してください。核燃料廃棄物の保管や原子炉廃炉の研究を進めてください。</p>	<p>私の住んでいるところは、福井若狭の原発から90キロぐらいのところですが、今回のような事故が起これば琵琶湖が汚染され、水も食糧も放射能でだめになる。もう住んでいられなくなる。せまい日本です。どこに行ったらいいのでしょうか。原発は老朽化しているのも多い。活断層がどこにあり、どんな活動をするのかも、わかっていない。地震の活動期にはいつているのに、漫然と原発にたよることは危険です。自然災害だけではありません。テロであの複雑な原子炉の配管の一部が破壊されることも考えられるのではないのでしょうか。また、核燃料廃棄物をもつ放射能はどうすることもできないので、結局、保管するしかありません。絶対安全な保管などできません。原発を続けると、これがどんどん増え続けるということです。いまある核廃棄物の安全管理、老朽化した原子炉の安全な廃炉の技術もできていない。まず原子力発電はやめると、決めて、そのための、エネルギー政策、廃炉技術の開発、自然エネルギーへの転換の計画をただちに進めるべきです。10年から15年をメドにスケジュールをつくりましょう。私の生きているうちに、そのようになることを見たいと思います。</p>
10408	<p>脱原発に反対。今こそ安全な日本製原子力発電所を世界に提供し、世界に安全をもたらして下さい。</p>	<p>貴委員会へ脱原発を支持するヤラセのようなメールが多数届いていることに強い危機感を覚え、メール致しました。東日本大震災で悲しいことに福島第一原子力発電所が津波によって破壊されました。しかし、第二発電所や女川も地震、津波の影響を受けたものの、安全に冷温停止に至っている事を、私は誇りに思っています。マスコミがこのことを取り上げない事に憤慨しています。フランスの原発電力を輸入しているドイツ、イタリアという例外を除いて、世界中が原子力発電所を新設、増設して行こうとしている今、わが国に課せられた使命は安全な原子力発電所を世界に提供していくことです。ある書によれば、原子炉の緊急停止は日本が最も少ないとのことでした。貴委員会の御尽力のお陰と感謝しています。思えば、わが国のここまでの発展は原子力による安価で安定した電力によってもたらされたものであると強く認識しています。わが国の産業基盤が掘り崩されている今、脱原発という選択肢は有り得ません。もし、そのようなことをすればポルトガルの二の舞です。一部の人たちによって作られた逆風の中ではありますが、原子力関係者の一層の奮闘に期待しています。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10409	<p>原子力発電所は全廃するべきだと考える。一度事故が起こればどうなるのかを目の当たりにした現在、それ以外は考えられないし、安全という言葉に絶対はない。世界的にも原子力発電をなくしていくべきだと思う。</p>	<p>今回の福島事故がいくら収束に向かおうが、これから二次、三次の新たな被害は明らかになって行くと思う。5年、10年してみないと事故の全貌は分からない。そんな中で他の原発の再稼働や新たな原発の建設などはもってのほかだと思う。「絶対に安全」という言葉と同じ確率で、「絶対にいつかは事故が起きる」。想定外のことが起きる。そして今回のことでも分かった通り、原子力発電に対して“想定外”は許されない。理論上は大丈夫だったのには済まないのだ。ただの事故では終わらないし、食品、子供への影響など二次的な被害が大きすぎる。</p> <p>電力供給が滞れば経済が停滞するのは自明のことだとすれば、原子力を使わずに需要を満たす方向に知恵と力を使って欲しい。様々な利権の絡み合う問題であるとしても、人間としての当たり前の想像力を取り戻し、原子力発電所を全廃することを求めます。</p>
10410	<p>政府とは国民の安全を守るために存在するべき</p>	<p>今回の原発事故は起こるべくして起こった人災である。原発は津波を受ける前から 損傷を受けていたと考えられる。このような天災は一部の地震学者たちにより 想定されていたが、原発のコストを抑えるため 残余のリスクとして、一般国民に知らされていなかったことである。この想定を無視した 原発村の利益に走った官僚 政治家 東電 学者たち すべてに責任がある。事故後に及んで、放射能汚染から 国民を守れない政府 まだ官僚の言いなりの政府 新大綱を制定するに当たり必要なのは、原子力村と関係の有る(利害の一致する)メンバーを除外することである 今回の事件で明るみになった、司法までも巻き込んだ利権に対抗できる組織構築が必要である。原発に関しては 検事裁判官 総理 大臣より権限を与え、政府が変わっても 政府には人事権を与えない。汚職に関しては、最大級の罪として罰せられるような法的保護と監視が必要である。</p> <p>今までの保安員 安全委員会 経済産業省とは無縁の人材がふさわしい。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10411	<p>原子力発電の今後について。 今後も継続していくべきだと思います。</p>	<p>福島原発事故がきっかけで一気に原発への注目が集まりました。 私は原発は今後も継続していくべきだと思います。</p> <p>まず、今原発に変わるエネルギーがないこと。 火力や風力だけでは到底まかないきれません。</p> <p>この夏も数箇所の原発が停止しているために節電が呼びかけられました。 そんな中で原発をなくすというのは不可能に思います。 もし韓国で起こったように、突然停電なんてことになると大パニックになることが容易に想像できます。</p> <p>原発を継続に当たっては問題も多いことは承知しております。 使用済み燃料の処理、安全性。 その解決策を考えていくほうが良いように私は思います。</p> <p>そもそも福島の原発ももっと安全面を考慮して作られていたら事故にもならなかったのではないのでしょうか。 それと対処の仕方にも問題があったように思います。 後手後手になってしまい、被害が拡大してしまったのですから、それらの対処法をもっと対策を考えていくべきだと思います。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10412	工夫すればなんとかなる。	<p>人間の作るものは必ず壊れます。                      人間は必ずミスをします。                      絶対安全な原発などありえません。                      万が一もう一度事故が起きたら取り返しがつきません。                      誰も責任を取れないのです。                      そんな原発は今すぐ廃止すべきです。</p> <p>原子力じゃなくても電気は作れます。                      お湯沸かして蒸気力でタービン回すだけでしょ。                      工夫すればなんとでもなるでしょ。                      そういう工夫は日本人は得意じゃないですか。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10413	<p>今後の原子力政策 脱原発へお願いします</p>	<p>今朝の新聞にて国民の意見の実に98%が脱原発とゆう記事を拝見しました。 このような圧倒的な民意を受けて、原子力委員会としてはどのような考えをお持ちですか？ もはや、考える余地もないのでは？ 隣町の美浜 敦賀 高浜 大飯 まさに原子力と放射能と核の脅威に怯える生活はご免です！ 愛する子供が福島のような環境で被爆すると思うとやりきれません。 数万年と放射能を出す プルトニウムの処理はどうするつもりですか？ 毎日 約5500万もの維持費を メドのたたないもんじゅの維持費に使うなんて考えられません！ 国民の血税を無駄にしないでください そして、ただちに 核の生産を辞め 自然エネルギーへとシフトしてください 間違いは 間違い いまからでもやり直しはききます ノー モア フクシマ ノー アゲイン フクイ 2%の利権と金の為に 再稼働をする事は 98%の国民が許しません！！！！ 国民の意見を無視しないでください</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10414	<p>原発および原子力技術をやめないでください。</p>	<p>電力は国の大切な基盤です。それを安定的に二酸化炭素を出さずに供給できることが大切と考えます。50年後はいざ知らず、現在まで培ってきた原子力発電は国の競争力確保に必須と考えます。糞に懲りてなますを吹くような対応は不要です。</p> <p>事故の反省はすべきです。今後より完全なシステム目指して開発することを勇気を出して行いましょう。その覚悟は持っています。</p> <p>特に核兵器と原子力発電を混同しないようにお願いします。</p>
10415	<p>原子力発電は直ちに廃止するべき</p> <p>クリーンな再生可能エネルギーの開発を進めるべき</p>	<p>安全神話は崩壊しました、国土を失うような事故を引き起こした原子力発電は必要ありません。</p> <p>幾ら安全対策を考えても、東京電力(削除)会長のように安全を蔑ろにし利益追求を優先する経営者がTOPでは事故を防げません。長年にわたり大量の天下りを受け入れ(削除)てきた電力業界に自浄作用は無理です。</p> <p>人間誰だってお金が欲しいのは政治家・官僚・マスコミ・一般人も同じです。癒着すればチェック機能が甘くなり再び事故を引き起こすのは間違いありません。</p> <p>私達の世代は福1の事故により、次世代の人々何世代にもわたり取り返しのつかない負の遺産を残してしまいました。</p> <p>同じ過ちを繰り返さない為にも、日本は総力を挙げてクリーンな再生可能エネルギーの開発に取り組むべきだと思います。</p> <p>※新大綱策定会議(第1回)資料第3-2号「個人情報の保護その他について」の考え方にに基づき一部を伏せさせていただきました。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10416	時間をかけて原発の完全廃止を希望	<p>大事故が起きれば数百数千年と人が住めなくなるような物質を使ってる時点で間違い。 人間が管理してる以上100%事故が起きないなんてありえない。 後もう1回放射能が広範囲に漏れ出せば、狭い日本なんて住むところなくなりますよ。 その時誰がどのように責任を取るのですか！</p> <p>それでも推進(原発稼働)するなら、憲法に事故を起こした場合の完全保障と誰がどのように責任を取るのか明確にしろ！</p>



国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10417	脱原発かつ自然エネ推進を強く望む	<p>脱原発かつ自然エネ推進を強く望む。                      産業界の低迷を乗り切るために原発の再稼動をおこなうなんて口実に過ぎない。                      120%安全でなければ稼動させるべきではない。                      国民の世論をキチンと反映して欲しい。                      原発マネーで潤いのある生活をしている一部の住民よりも原発のおかげで不安を抱えて生活している人のことを忘れないで欲しい。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10418	<p>トリウム溶融塩原発のことを「原発安全革命」(古川和男、文春新書、2011年5月)で知りました。現在のウラン原発でなくこの原発が採用されていれば今回の福島第一原発事故も起らなかった可能性があります。</p>	<p>トリウム溶融塩原発でも放射能廃棄物が出るので、自然エネルギーですべて置き換えられるまでの一時的なものという位置づけです。日本が脱原発で原発を廃止しても、このままでは中国はじめ海外では現在の危険なウラン型原発がどんどん増えていきます。日本で実用炉が開発できれば日本主導でそれに置き換えられます。ウラン型原発で出てくるプルトニウムも燃やせるので、エネルギーサイクルの「もんじゅ」計画に置き換えられます。先の見えない「もんじゅ」計画に資金を投ずるよりトリウム溶融塩原発の実用化に金を使うべきでないでしょうか。すでに1960年代米国のオークリッジで実証炉ができていますので、実用炉までにはそれほど金と時間はかからないと思います。このようなことはすでに原発関係者には自明のことで、今まで燃料メーカー、機器メーカー、電力会社、米国関係者等との力関係から、顧みられなかったトリウム溶融塩炉を今こそ復活させるべきだと思います。</p> <p>福島第一原発の事故があったので、日本および世界で脱原発一色ですが、いますぐ自然エネルギーにすべて置き換えることは不可能です。また現在のウラン原発の新設は、ほとんど困難で、古い30年も経過した原発は廃炉になっていきますが、廃炉分の一部をトリウム溶融塩炉に置き換えられないかと思います。地震国日本には地震に強いこの原発が適していると思います。トリウムはウランより資源が偏在しておらず、量も多いのでエネルギーセキュリティ上も良いと思います。現にレアアース採掘に伴ってトリウムも出てくるのでその処理に困っているようです。是非このトリウム溶融塩原発をエネルギー政策を立てる上で検討してください。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10419	<p>国の原子力政策に関しての意見</p>	<p>・原発はもう要らない            国は安全だと言い張るけれども、チェルノブイリなどの事後を見ても            原発と人間の共存は安全とはほど遠い。            25年で2度の「レベル7」が起こったということは            もう、人間がミスなく運用することは不可能ということだと思ふ。</p> <p>国民のパニックを恐れて被害を小さく見せ            後から発表するようなやり方よりも            全ての情報について、正確な情報を提供して欲しい。</p> <p>また、「絶対事故を起こさない」ではなく            「絶対安全」ではなく            「ヒューマンエラーは起こるものである」という考え方にシフトしない限り            あらゆるミスは隠蔽されることは明かだ。</p> <p>多少不況になろうと、今ある家電製品が使えなくなろうと            命を脅かされるよりは、不便な生活を選ぶ。</p> <p>日本は狭く、地震も多く、人も密集している。            そういう国に、原発は要らない。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10419	<p>国の原子力政策に関するご意見 (続き)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原発の建設の可否が1市町村に委ねられるのはおかしい 上関原発の町長選の結果だけで原発建設の賛否が決まるのはおかしいと思う。 ひとたび事故が起これば周辺自治体はおろか、 周辺100キロ以上の地域を巻き込むものなので、 原発建設の賛否については、 周辺地域を含む広範囲の住民の意志決定に寄るべきだと思う。</li> <li>・福島放射性廃棄物を全国に拡散反対 そもそも、どうして放射性廃棄物を全国に拡散して貯蔵する必要があるのか。 福島原発周辺地域に中間貯蔵地を作らない理由。 その両方が明らかにされない限り、放射性廃棄物の全国への拡散は認められない。</li> <li>・暫定基準値の撤廃希望</li> <li>・風評被害という言葉の使用停止 風評被害ではなく、明かな実害であり 健康被害をもたらすものである。 風評被害キャンペーンなどは、行うべきではないと思う。</li> </ul>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10420	<p>事故の呼び名(名称) 今後の原子力発電所の設置方法について</p>	<p>勝手ながら全世界へ福島という言葉が飛び交うようになってしまいました。それに伴い農業・漁業に携わる方々の風評被害が大変になってしまいました。出来れば、即時に原子力津波被害等の名称に改訂して頂きたい。</p> <p>恐れながら水俣は一切の公害の基みみたいな名称になっていまでも傷ついている子供たちが、大勢います。子供たちは、親にも言えず仲間外れにされ日本国内にいてもつまらない状態になってしまいます。</p> <p>地区の名称を事故の名称にしないで頂きたい。</p> <p>今後の原子力発電所は多分建設の方向へいくかと思います。私は、まず穴を掘り固めた状態の中で操業を行い事故の際は、速やかに埋めるような形式をとらないと操業が無理かと思います。勿論、原子力発電所に頼らない方が良いとは思いますが・・・(削除)代議士の生活もあるのでしょうか？それなら対策有り期のことから行わないといけないと強く思います。</p> <p>失礼ながら一意見です。</p> <p>※新大綱策定会議(第1回)資料第3-2号「個人情報の保護その他について」の考え方に基づき一部を伏せさせていただきました。</p>
10421	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原発の新規建設の禁止</li> <li>・現行の原発の廃炉</li> <li>・廃炉、維持費用以外の、原発に対する補助金の撤廃</li> <li>・経済的に原発に依存しないチームによる、高い専門性を備えた監査体制を強く求める。</li> </ul>	<p>地震国であり、かつ国土の狭い日本にとっては、原発の、最悪の事故時のリスクが、あまりにも大きいことははっきりしている。</p> <p>考えるすべての天災、事故に対して安全な原発などというものは、コストを度外視でもしなければとても建てるものではなく、現実的でない。国費を天井知らずにつぎ込めば、国の財政を圧迫する事は目に見えている。仮に建てたとしても、考えもしなかった事故、天災というものは常にありうる。ましてや、現行の、コストを気にするあまり低い安全基準に基づいて建てられた原発などは問題外だ。順次廃炉にしていくことを強く求める。</p> <p>また、同じ理由により、原発を動かしている事に対して補助金を出すなど、もつてのほかだ。停止、廃炉のための動きに対してこそ補助金を出すべきだ。自治体を補助金漬けにして原発を押しつけるのは、甚だ歪なやり口と言わざるを得ない。一部の人間が金銭を得る為に、人命や国土を致命的な危険にさらすなど、言語道断。是非、福島を教訓に、脱原発を実現して頂きたい。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10422	原子力エネルギー利用に反対です。	<p>原子力発電は安全ではありません。制御棒を入れても冷却し続けなければならないなんて知りませんでした。車はエンジン止めたら人は轢きません。ガスコンロは火を消したら大丈夫です。原発の安全のためには何重にも防護壁をつくり冷却装置を電源装置を何重にも備えることが必要で、それらは必ず壊れます。そのような装置が完全に動いたら大丈夫ですと言うのは、そもそも本質が安全ではないのです。欠陥製品です。</p> <p>車は便利ですが交通事故では凶器にもなります。火は言うまでも無く文明を推進してきましたが、火災を起します。しかし原子力災害のように、多数の人間の、生物の命を何百年、何千年と危険に曝しはしません。緑を、大地を、海を未来にわたって汚染しはしません。原子力で生み出された放射能は、作られた放射能は、およそ人間や生物や緑や大地と共生はできないのです。</p> <p>原子力発電を推進する人達は、廃炉の費用と方法、具体的な処理地域も先送りし未来に押し付け今がよければ、自分たちがよければそれでいいという人達です。生み出されたプルトニウムをどうするのでしょうか。自分の子や孫が苦しめば良いとしても、それを私の子や孫まで背負わせないで下さい。</p> <p>福島原発の収束など何時のことやらなのに、それなのに原子力を進めることは許されません。原因究明ができていないのに、対策ができるはずがありません。</p> <p>どうか原発も含めて原子力は止めてください。世界唯一の被爆国が、どれだけ過ちを繰り返せばよいのですか。もう被爆者はたくさんです。それが責任の取り方です。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10423	寄せられた反原発の意見は氷山の一角です	<p>内閣府の原子力委員会</p> <p>ほとんどの人は、意見のあて先を見て、原発派の根城だ、そう思うに違いありません。</p> <p>住所を明らかにすることで、原発派のターゲットになるのではないか、そのようなことを内心恐れている人も相当数いたことでしょう。</p> <p>しかし、住所を明らかにしてまで、反原発の意見を言う勇気を、非常にたくさんの方が持っていたということに、最低でも、気付いてください。</p> <p>反対の意見を表明をする勇気が無かった人も大勢いるはずですが、しかし、意見の表明が無いこと＝暗黙の同意をしたとするのは誤りです。</p> <p>(削除)</p> <p>たかが一、二年の景気動向のために原発を動かし、再度の大地震で福島のような大惨事を他地方で招き、何十世代にも及ぶ残留放射能を残して良いのでしょうか？</p> <p>東日本大震災が起きたから、もうしばらくは他の大地震は起こらないだろう、そのような考えは大きな誤りです。それどころか、地震で起こった地殻ひずみは、他の大地震を誘発するリスクを増大させています。</p> <p>今度、他地方で大規模放射能汚染があったら、全国民が例外なく、高汚染の食物を食べねばならないでしょう。</p> <p>それだけでなく、あるときを境に、福島放射能による死病シンδροームが爆発的に起り、パニックになる可能性が指摘されています。</p> <p>原発派の、ほんの一部の原発利権者の金儲けのために、99%の国民の健康が犠牲になるのです。</p> <p>原発派のみなさん方は、愛国心という概念があるのでしょうか？</p> <p>※新大綱策定会議(第1回)資料第3-2号「個人情報の保護その他について」の考え方にに基づき一部を伏せさせていただきました。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10424	<p>日本の原子力政策は、既存原発全廃炉前提、全廃炉完了までは既存の原発及び使用済み核燃料の保守・管理の徹底のみ原則とし、新原発禁止、代替自然エネルギーの研究開発とその実用を主体に段階的に移行すべき。</p>	<p>原子力発電は「ハイリスク・マイナスリターン」。 スリーマイル・チェルノブイリ・福島原発事故は自然災害が発端で人為的ミスが原因。</p> <p>歴史的な事実は、事故が絶対に起こらないことを示唆しているのではなく、また起こりえる事実を証明。</p> <p>一番の問題は、使用済み燃料を2万年も安全に管理しなければならない核の猛毒が、稼働する限り増え続ける。</p> <p>廃炉・核ゴミ処理技術も無い現状を例えるなら、下水処理がない便所、残るのは自然界にはない人間が作りだし人間には手に負えない核のゴミ。</p> <p>周知の事実、原発の電力供給は安価安全ではなく、残るのは核廃棄物管理を後世に残す原発政策は、「ハイリスク・マイナスリターン」に他ならないのです。</p> <p>英知の探究心は人間の権利、 原子力技術を信望し研究・実験は自由だが、安全実用の段階に達しない技術は実用してはならないのです。</p> <p>原発事故の代償は国土の喪失です。 人間の身体に例えるなら、「片腕を失っても電気自動車の乗りたいのですか」という従来の経済至上主義の根幹的価値基準を根底から問い直す機会をもたらしたのが、今回の福島原発の大爆発なのではないでしょうか。</p> <p>新興国に追い越された一般電化製品・半導体・自動車・など、喰えない(直接口にできない)産業技術で戦後復興を成した日本ですが、これを機に喰える産業に転換することが肝要。</p> <p>産業革命後人口の爆発的増加は、水や食料の世界的争奪戦に至り、これは軍事・エネルギーの国家的安全保障の次元を超えた問題です。</p> <p>日本立国の体質改善(サバイバル)は、喰える産業(海のない山で魚介類の養殖・砂漠でできる野菜工場・海水淡水化など)を日本の輸出産業の主体にし、自然エネルギー主体の立国モデルと成ることが、世界に向けた日本近未来パラダイムの姿ではないでしょうか。</p>
10425	<p>大気中だけでなく、海洋汚染がこれ以上広がらないよう対応してほしい。海にも多くの生物があり、人間だけが生きているのではない。世界中が日本の対応をみています。</p>	<p><a href="http://kashio.spinavi.net/index.php?blogid=1&amp;archive=2011-9-6">http://kashio.spinavi.net/index.php?blogid=1&amp;archive=2011-9-6</a> 福島原発事故の深刻性について(元CNRS(国立科学研究所)主任研究員(削除)) 蒸気の上昇速度が速すぎる。むしろ溶解したコリウムと汚染水が接触した結果ではないだろうか。…… 海洋汚染については原発前の人造ポットを封鎖し、海水をポンプでくみ上げ、海岸一帯をコンクリートで固めるのだ。そうすれば放射能をある程度抑えられる。だがTEPCOとその関連企業は何もやる気がないのだろう。</p> <p>※新大綱策定会議(第1回)資料第3-2号「個人情報の保護その他について」の考え方に基づき一部を伏せさせていただきました。</p>



国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10426	50年先を見据えた政策を	世界的に脱原発に向かおうとしている、今後廃炉となる原発が多数控えていることから、作ることを輸出するよりは廃炉技術を輸出する方向へシフトして行くべきと考えます。
10427	福島第一原発事故の検証において、事故当時、現場にいた作業員、運転員、管理者の個人の判断の問題に帰結するのではなく、極限状態での心理的反応、問題点について、心理学的な検証および対策を求めます。	福島第一原発事故の検証において、事故当時の判断、対応が正しかったのかどうかの検討されると思います。その時に、個人の判断の良し悪しではなく、現場で極限状態に置かれた作業員、運転員、管理者がどのような心理状況になり、どういう判断を下す傾向にあるかなども重要と思います。 今回の事故では、当初楽観的な情報が伝えられ、時間とともに深刻な状況が明らかになって、きました。事業者、政府関係当局の隠蔽体質や問題を小さく見せようとする体質もあるでしょうが、それだけではないと思います。 スリーマイル事故、チェルノブイリ事故においても現場では、極めて楽観的な状況判断に基づいて対応していたと聞きます。個人の問題としてではなく、極限状態におかれた人間が、どのように判断する傾向があるか、心理学的にも検証し、それを念頭に置いた対策を検討してください。
10428	地震国、日本で避けられない、大災害は今後絶対やってきます。 「未来の日本繁栄のために、脱原発を・・・」	広島、長崎、福島と放射能に苦しめられている日本人。 止められた戦争、起きるべくして起きた地震、津波の大災害、人災といわれるような、ずさんな原発、もう2度と起こしてはいけません。 今、日本人はグローバルな社会から、大きな期待と願いと責任、そして使命を背負っています。もう、同じことを繰り返したくない。日本沈没にさせたくないのです。放射能とともに生きていかなければならないこれからの日本人、誇りと勇気と強さ、応用力と豊かな発想で、後世に、計り知れない貢献をし、そして、今を生きているという、その命を輝かせることだと信じたいのです。 そのために、もう2度と起こさせないために「脱原発」でなければいけません。
10429	全原発の即時停止、停止した原発の早急な安全対策の実施、新規原発の建設中止、老朽化した原発の順次廃炉を希望。当面の代替エネルギーとして火力発電を利用し、再生可能エネルギーの開発・普及の促進を希望。	福島の事故により、原子力発電所の一度の事故で関東・東北・北海道・中部地方まで広範囲な被害が及ぶことが明白になりました。世界的に地震の多発している現在、もしも国内の他の原発で事故が起これば日本全土が汚染され、国内で移住することも国内で安全な食料・飲料水を確保することも不可能になります。 また原子力発電で出た核廃棄物の処理方法は半減期を迎えるまで何万年も保管するという方法以外無く、安全な保管方法も確立されておらず、現代人類の消費したエネルギーの負の遺産のみを後世に残すことになります。 以上の理由から全原発の即時停止、原子力エネルギーの代替となるエネルギーの開発・普及促進を希望いたします。

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10430	<p>福島原発事故を踏まえた大綱にしてください。                      原発の稼働率よりも安全最優先。                      使用済み核燃料は再処理することで核のゴミが増えます。                      脱原発・それに伴う原発立地の振興支援計画を立ててください。</p>	<p>原発の安全神話が福島原発事故で崩れました。                      福島原発事故を踏まえた大綱にしてください。                      事故原因の実態調査を行い、世界に発信してください。                      日本に住む者として、原発事故を謙虚に受け止め、地球に対して放射能汚染・その拡大をさせている実態を申し訳なく思っています。                      原発の稼働率よりも安全最優先をお願いします。                      原発立地自治体は、原発がないと経済的に困窮しています。                      稼働率で収入の変動があると、安全よりも稼働優先になってしまいます。                      それでは困ります。                      使用済み核燃料は資源と言われていますが、                      実際、再処理に伴う高レベル放射性廃棄物が生まれます。                      また、再処理によって取り出されたプルトニウムの使い道は、高速増殖炉が生き行き詰まっていることから、軽水炉でプルサーマルを行うということしかありません。そのプルサーマルから使用済みMOX燃料が産出されますが、その持って行き場は未だ決まっています。                      もう、原発はやめませんか？                      国策で行われてきたものなので、自治体へ原発に頼らなくていい地域振興のための補助金制度の創設、原発にまつわる雇用や経済の保障も含め、国策で節電と自然エネルギーへの転換をしてください。                      福島原発事故を見て、原発はコストも高くつくことが、よくわかりました。                      原発輸出もやめて欲しいです。                      そういう即脱原発大綱を作って欲しいです。</p>
10431	<p>リスクがある以上、原発を推進、ましてや新規建設はすべきではない。                      未だに苦しい生活を強いられている原発被災者にもっと目を向けるべき。</p>	<p>次々と明るみになる原発推進の国や電力会社による「やらせ問題」、不十分なリスクで国民に負担を強いることで被災者への補償を行うおうとする東京電力、原発建設地および周辺市町村住民を原発マネーで丸め込む体質・・・真剣に環境や安全を考えているとは思えない。                      原発にかかる費用を被災者の補償や省電力製品の開発推進に充てる等、将来的に全ての人々が安全な環境で、安心して暮らせるよう、段階的にでも脱原発に踏み切るべき。                      民主主義国家なのだから、国民投票で原発の是非を問うのも良いと思う。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10432	原子力技術の開発継続を期待します。	1: 多くの国民の現在の原子力に対する態度は一過性のもので、いずれは再び原子力の有用性を認識することになると思われる。縮小や廃止を急ぐべきではない。 2: 原子力発電を必要としている国は多く、日本の原子力発電技術の優位な立場を安易に放棄すべきではない。外貨獲得のため利用すべきである。 3: 発電技術のオプションは多い方がよい。自然エネルギーの地位が確立されるまでは原子力開発をやめるべきではない。今後米国の凋落に伴う、国防のための軍事転用も視野に入れるべきである。
10433	今回の原発事故に関して。	貴方がたの組織は、日本を滅ぼすために作られた組織なのではないでしょうか？ (削除)A級戦犯に相当するあなた方たちに日本を滅ぼされてはたまりません。右でも左でもない普通の日本人ですが、怒りを抑えきれずメールいたしました。 そのまま削除されるのでしょうか、これを読んでくださる貴方だけでも少し考えてくれることを期待して、。。。。  ※新大綱策定会議(第1回)資料第3-2号「個人情報保護その他について」の考え方に基づき一部を伏せさせていただきました。
10434	瓦礫処理を非汚染地域で行わないでください。	今現在の時点で東日本はすでに汚染されています。 この上西日本や北海道まで汚染が広がってしまったら、日本は全国土が汚染地帯になってしまいます。 お願いですから日本を滅ぼすようなことをしないでください。 瓦礫は汚染地域で処理して、ほかに被害が広がらないようにしてください。 お願いします！
10435	原因究明について	福島原発に関して、安全委員地震・津波関連指針等検討小委員会などをみても、津波を原因と考えているようである。 柏崎原発でも震度6強で大小三千の不具合が発生した。地震の影響を評価せずして津波対策にのみ注目するべきではない  そもそも安全という観点からは地震国日本に原発立地は無理だという結論も持つ可能性を検討すべきだろう いずれにしても東大原子力同窓として 1期生の近藤氏には しっかりとした撤退戦略を描いてもらいたい

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10436	日本の再生可能エネルギーに関する特許件数が世界一で活発である。安心・安全な新エネルギー政策を推進するため、国家的に開発・推進をすべきで、日本政府は脱原発にしてほしい。	<p>世界知的所有権機関(WIPO)の調査を踏まえた環境省調査によると、世界各国で出願された約5万件の再生可能エネルギーに関する特許のうち、日本での出願特許件数が全体の55%を占めて世界一とのことである。内訳は、太陽エネルギー57%、水力エネルギー14%、バイオエネルギー12%、風力8%、地熱5%、潮力や波力エネルギー4%で、日本の再生可能エネルギー研究開発は極めて活発であり、安心・安全な国家にするために、これらのエネルギー政策を強力に推進してほしい。独は20%、米は原子力を追い越した。</p> <p>しかし、日本は、極めて毒性の強いプルトニウム、MOX燃料を使用し、多くの国が止めている制御困難なプルサーマル開発を未だに続け、長年に渡る放射能汚染となり得る危険な原子力発電に突出して経費をかけている。しかも原子力村は、多くの天下りを持つ独立・財団法人を生み、巨大組織は、国・電力会社によるやらせをし、原子力情報をねじまげ、公開すべき情報の隠匿、トラブル隠しをした。言い換えれば、この度の原子力発電事故を契機に、安全ブレーキをなくし、規制のないアクセルのみの原子力政策の構図が発覚した。</p> <p>これを契機に原子力原価を含めた原子力問題、当該自治体に有利な電源三法、関連企業自由競争を阻む地域独占体制、納得いかない総括原価方式、発電・送電の分離等の電力会社に関する問題が日本中で認識することとなった。</p> <p>今回の原発事故の真の原因、安全対策、野田首相の積極的な再生可能エネルギーを話さない理由。とにかく東電のような黒塗り報告はいらない。何故、原発を止められないのか、今後の規制は何か等々を公に発表・公開してほしい。</p> <p>再度、同様の原子力発電所事故が数カ所できたら、日本はもう復興は無理である。もう減じるのではないか。とにかく、早く目を覚ましてほしい。</p>
10437	我が国の今後の原子力政策の在り方について	<p>原発事故後7カ月がたつ現在、事故を起こした原子炉の安全な停止のめどもたらず、また国民の被ばくに関する対応もまったくもって十分とは言えない状態で今後の安全・安心を示されたところで、何一つ現実味を伴っては受け取れません。原発なくして現在の生活水準なしとも言われますが、食の安全・今後の健康すら補償されずに現在の生活水準も何もありません。原料の採掘から、運転時・今回のような事故後の処理・さらには廃棄物の処理まで、関わる人全てを危険に陥れるような産業は今後一切廃止してください。よろしく願いいたします。</p>
10438	核を使った発電法の危険と破綻	<p>事故から半年以上たって政府や東電がどう楽観的に世論を誘導しようとも福島第一原発は収束がムリだという事がどんどん明らかになってきました、素人でもちょっと勉強すればわかります、もはや政府東電はちょっと勉強しない人にしか信用されていないのです。</p> <p>まず最終処分のしかたが誰にもわからない廃棄物を生み続けるシステム、原発が事故を起こさなくても被曝者が発生するシステム、そして一旦事故がおこれば国が滅亡するかもしれないシステム。よく自動車事故と自動車文明等、理論のすり替えでよく使われていたが、飛行機が落ちても、交通事故がおこっても何世代、いえ数万年にわたり大地や海洋を汚染し続ける核の事故とは根本的な質が違います。</p> <p>日本の海岸線にたつ原発の危険性は地震や津波のみならず、テロによる攻撃やそれ以前の電源喪失状態にさせるだけでも壊滅的なダメージを与えることがわかった以上国防の視点からも原発からの脱却は急務だと考えます。</p> <p>電力は原発なしで足りるし、原発が動いていた時期も経済は右肩上がりでした、そして原発事故でとどめをさされたと思います。</p>
10439	原子力発電所はできる限りすみやかに廃止・廃炉に向かうべし	<p>今まで国および電力会社は実際には具体的な根拠も何もないでひたすら「原子力は安全だ」と言い続けその原子力政策を推し進めてきた責任ははかりしれない。「原子力は安い」というのも都合のいいデータだけで出したまったく根拠のない結論だった。再生エネルギーによる発電は高いというのは普及していない状態ではあたりまえ。十分に普及すればコストが安くなるというのは現代社会の常識。電力会社の独占もすみやかに解体すべき。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10440	原子力発電所は、即時廃止して欲しいです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険性が高すぎます。生きていけなくなるのは困ります。</li> <li>・電力事業の自由化を進める事で、供給量は確保できるのではないのでしょうか。</li> <li>・他の電力源を開発していくという、新たな成長分野を形成できる。</li> </ul>
10441	今すぐ、日本にある全ての原子力発電所を永久に廃炉にすることを決定してほしい。	<p>理由は、主に3つあります。</p> <p>まずひとつは、3. 11以降の福島原発の事故から学ばないといけないということ。また、いつ地震が来て今回の様な大事故になるかわかりません。</p> <p>ふたつめは、原発は危険が大きすぎる。東京周辺に置けないほどのリスクの高いもの、農業に大きなダメージを与えて国民に内部被曝させてしまう、生命を脅かす原発には、永久に別れを告げないといけません。</p> <p>三つめは、使用済み核燃料の問題が未だに解決されていないということ。原発を稼働し続けるということは、永久に分解されることのない、非常に危険性の高いゴミを出し続け、地方に負担させ続けることを意味します。</p> <p>脱原発がすぐにはできない理由として、エネルギー不足の問題がまず挙げられると思いますが、それは真っ赤な嘘です。原発がなくても、火力・水力はじめ現在の供給量で充分まかなえることが分かっています。</p> <p>また、化石エネルギーの地球温暖化問題や枯渇問題もあります。しかし、被曝問題と資源問題、どちらが緊急な課題でしょうか。答えは明白です。</p> <p>資源問題に関して言えば日本は、科学立国です。原発に頼らなくとも、代替エネルギーをもっと開発、普及させることができるはずで。現在普及し始めているエネファームを例にとっても、もっと環境に優しくエネルギー効率のよい方法が検討されるべきです。原発を即停止、暫定的に化石エネルギーにエネルギー供給を支えてもらい、段階的に新エネルギーへと移行していけばいい話ではないでしょうか。</p> <p>私の姉のお腹には赤ちゃんがいます。もしも、障害を持って生れてきたら。真っ先に思うのは原発の事故のこと。こういったことに対して、責任が取れないというなら、原発は即時廃止してエネルギー問題についてもっと幅広く議論をしてほしいと思います。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10442	<p>(1)原子力エネルギー：国内利用の縮小、国内外で安全管理の徹底。(2)原子力発電を含む重化学工業の今後：シューマン・プランを参考に経済活動の合理化。(3)代替エネルギー：地熱利用。化石燃料：始動時のみ利用。</p>	<p>意見(1) 原子力エネルギーの国内での発電利用を全廃。徹底した安全管理の下での研究のみ推進。理由(1) 放射性廃棄物によるゴミ問題の解消。潜在的な原子力爆弾への依存の解消。電力需要に対する選択肢の拡充(生物多様性の確保)※現在の原子力エネルギー利用技術はあらゆる生物の基礎代謝に鑑みてエネルギー変換効率の低いこと、毒性を無害化出来ないこと、など科学力が圧倒的に不足している為に選択肢とはならない。</p> <p>意見(2) 国内原発の停止で影響を受ける重化学工業は地球全体で共同運営(共同での安全管理)。理由(2) 地球人口約68億人の人口扶養力の徹底調整。労働力の安定供給を恒久的に確保。共同通貨体制を敷き地域間交通の実質無償化(現状の航空機、船舶、自動車などは段階的に廃止、有線交通網などエネルギー伝達効率が高い機関で内蔵燃料に依存しない方式に移行。内蔵燃料は非常時専用とする)。教育機会の無償提供。※各国家各地域は地域通貨を使用、軽工業による内需拡大、政治は初等教育段階から実習に参加し学習量を単位認定する方式を採用、あらゆる職業で職匠認定制度を採用、各地域の必要数に応じる直接選挙で選出。職業選択や移動の自由を拡大しつつ秩序を整理する。</p> <p>意見(3) 代替エネルギーとして地熱による熱湯と蒸気の直接利用(調理、風呂、空調など)。電気は、環境に応じた発電方式が自然淘汰的に選別されるように産学官共同で準備し各地域の市場経済に提供する。条件は化石燃料の使用の制限(始動時のみ利用)。※電気も公共施設での利用が進むように環境整備。</p> <p>まとめ 原子力エネルギーに限らず地球内部の資源採掘を抑制し海底火山からの噴出物を含む表出分の抽出技術向上など全生物的視点に立つ政策を採用。以上の内容を提出します。</p>
10443	<p>早期の脱原発が日本の将来を救う唯一の道である。日本の技術力は、世界に誇るものがある。脱原発を他国に先んじれば、世界は日本を模範とし、脱原発に向かい、日本は世界のリーダーとなり、誇り高い復興が出来る。</p>	<p>私には、高校生の娘がいる。福島第一原発からはかなりの距離があり、事故による、放射性物質の飛散による被曝は、今のところあまり心配はないだろう。しかし、一番の心配は食料である。これまでは、国産が安心と思っていたが、今は地元の物でなければ不安である。暫定基準値を下回っていても、その数値は公表されず、また本来の基準に比較すれば、遙かに高い数値である。そして、このような状況は、今後かなりの長期にわたり続くと思われ、内部被曝を出来る限り抑さえなければ、十代の子供たちは将来健康に影響がでる可能性を否定出来ない。</p> <p>原発事故により、どのような事が起こるのか、今回のフクシマの事故が全てを語っている。チェルノブイリから何一つ学ぶことなく、日本の原発では事故は起きないとして、原発を推進して来た事のツケが、チェルノブイリを超える原発事故を起こしてしまった。世界一安全な原発をつくるとは何なのか？原発という物に安全はないという反省がなく、核廃棄物の最終処分も出来ない技術の何処に安全を見いだせば良いのか？</p> <p>原発推進の予算を再生可能エネルギーの開発に回すことで、日本の技術を持ってすれば、世界最高水準の発電能力を持った太陽光発電、風力発電、さらに火力発電も高効率のタービン開発はかなりの短期間で可能と思う。それにより、製造業の雇用拡大と復興が可能となる。</p> <p>脱原発は、短期的な経済活動ではなく、今後10年、20年先を見据えた日本の決意であり、希望的目標ではなく、必須の目的なのである。原子力はいずれ世界から消えて行く、仮に日本が実現出来なくともドイツは必ずやりきるだろう。その時、フクシマから学ばなければならなかった日本は、世界からどのように見られるのか。</p> <p>日本なら出来る、日本だから出来る事を世界に証明することこそ、現世代の責任ではないか。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10444	環境保全確保の為には如何なる産業活動も公害源となる廃棄物は完全な無害化技術が確立しない限り排出すべきではない。放射性廃棄物を排出し続ける原発の稼働は可及的速やかに停止すべきである。	放射能が有する無害化不能な固有有害性は半減期などを含む特異性が故に現廃掃法の対象から除外されている。地層処分策は無害化不可能な故に地下隔離せざるを得ないのであり地殻変動危機に常時晒される日本国土には馴染まない対策であり後世に危機を後送りするに過ぎない。万一の危機の多きさを考慮すると原発で得うる利益は極めて限定的なものと言わざるを得ない。 電力源を考察すると 現有エネルギー源を有効に活用しつつ再生可能エネルギー技術と省エネ技術革新を加味するならば原発を急速に停止しても需要に十分に耐えうる。 電力単価を考察すると 原発に関する過去投資の総額 更には原発事故対策に関わる膨大な費用を考慮すると原発による電力費は他の電力源に比しても極めて高価なものである。 温暖化対策に関しても 原発に関わる全工程・全事業活動の総CO2排出量を考慮すると 技術革新により十分に克服可能なものである。 新原子力大綱策定会議に求められている最優先課題は 原発に依存しないエネルギー源の拡充を目指した政策・大綱作りである。また現存する放射能廃棄物の無害化に向けた技術開発の体制作りも欠かせぬ課題である。
10445	一日も早く原発から脱却することこそが必要。	チェルノブイリ、福島の大事故を経験しても尚、原発が必要だという主張をしている愚かな人間はもはや、地球史、人類史上最大の癌である。 特に、この日本列島は大きな地震が頻発していることはここ数十年の事実で証明されている。 活断層が日本列島いたるところに走り、その上に原発が存在するなど、100%冗談だ。 そして、核燃料廃棄物の処分も確立されていないまま、廃棄物を加速度的に増やすなど、まともな考えの人間がすることではない。 地球は人類だけのものではない。あらゆる生命体の貴重な宝である。その宝をこれだけ汚し破壊する原子力発電とはすぐに決別すべきである。
10446	今こそウランの代わりにトリウムを燃料とするより安全性が高く経済性も優れた原子炉による原子力エネルギーの利用・開発を進めるべきだと思います。	エネルギー安全保障の見地から、原子力の平和利用は極めて重要です。 資源の確保、原子炉の安全性、放射性廃棄物の問題、核兵器への転用、テロ対策等々、さまざまな面でトリウム原子炉はウラン原子炉よりも優れていることが明らかになっています。各国もその開発に取り組み始めています。 福島原発事故の影響で脱原発の声が大きくなっていますが、今こそわが国のエネルギー政策、とりわけ大きな可能性を秘めたトリウム原子炉の開発を含めた冷静かつ積極的な議論が進められるべきだと思います。
10447	国内の原発すべての稼働停止、脱原発希望です。	震災だけでもとても恐ろしかったのに、地震の度に原発の動向にまで怯えなくてはならない。 水も土地も食べ物も汚染され、国も東電も中々本当の情報を提供せず対策も後手後手、被曝許容量も都合良く変更。 永田町をふくいちの敷地内に移動する覚悟であれば納得が行きますが、現時点では納得の行く事が一つありません。 もう何の為に頑張って働き国に税金を納めなくてはならないのかもわからなくなりました。せめて原発を止めていただきたいです。

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10448	<p>原発は出来るだけ速やかに廃止しましょう。</p>	<p>原発稼働、輸出、新設の動きが次第に本格化してきました。                      ウランはつなぎにすぎず、燃料再処理は頓挫(世界中の強権発動国家以外)。                      地震・津波・テロに耐えない。                      最終処理は超長期間で、受入地もない(調査だけ受け入れ除く)。                      原子炉1基数百億の交付金(危険手当)で地元経済混乱。(数十年後財政要注意団体転落も。)                      組織犯罪との関係があやしい。                      予算を他に回せば国産エネルギーも研究・実用化進む。                      情報開示の障害になっている。                      原水爆研究の疑いもある。                      無責任体制の温床になっている。</p> <p>日本の地震を止めたり、世界中の紛争とテロが終息するまで、原発扱うのは無理でしょう。夢のエネルギーは儚い夢。</p>
10449	<p>原発は出来るものから最優先で廃炉にしてゆき、将来はゼロにするべきです。                      代替エネルギーは再生可能エネルギーと火力でまかない                      太陽光や風力など新しい産業を育てるべきです。</p>	<p>原発は(削除)勝手に作ってきたものです。                      ウランはあと70年しかもたないのですから                      もう再生可能エネルギーにかじを切らないとまずいでしょ。                      日本は今まで、そして今でも核の平和利用を他国に宣言しているのですから                      今後核兵器など作ったら世界の笑い物ですよ。                      高放射能廃棄物なんかどうするんですか？                      何万年も後も管理出来るわけないでしょう。                      管理コストだっていくらかかるかわからないじゃないですか。                      5000年後に放射能がもれたらその賠償はだれがするんですか？                      なんでこんな簡単な事がわからないんですか？</p> <p>あと頭にくるのがなんで東電の賠償を国民に押し付けたんですか？                      なんで銀行や株主をまもったんですか？                      これだけの事故を起こしたら業務上過失で罪に問うのが常識でしょう？                      核燃料サイクルなんて無理だったじゃないですか！！                      たとえ出来たとしてもプルトニウムを抽出するのにとんでもない量の放射性物質を海に垂れ流すのですから、日本人は魚を食べられなくなりますよ。                      国民をなめるな！！                      国民の健康を守るのが政治の役目でしょう？                      いい加減目をさまないと人が住める国土がなくなりますよ！！</p> <p>※新大綱策定会議(第1回)資料第3-2号「個人情報の保護その他について」の考え方に基づき一部を伏せさせていただきました。</p>



国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10450	原子力発電・核燃料サイクル技術等検討小委員会の原子力発電にかかるコスト計算について	今回、事故発生時の費用を加えるようにしたことは、大変評価できるが、放射線廃棄物の最終処理までにかかる費用、および、原発立地対策費、揚水発電所の建設費もコスト計算に含めるべきです。
10451	原子力発電は即刻廃炉へアクション希望です。福島第一と同じ事を絶対に繰り返してはだめです。原発で働く人達や子供達が放射線で癌になる事を考えて下さい。あなたの愛する家族も癌で死亡する可能性をひめています。	すでに何十年前前に開発された技術が原子力発電ですが、いまだに全てをコントロールできず、スリーマイル、チェルノブイリ、福島第一などの大事故を招いています。今後日本で、世界で、どれだけの人々が亡くなるか誰も正確に予測できません。今後、この福島第一事故により死亡したとの確定診断ができるだけの医療技術発達(ゲノム関連知識等の発達)があると思われます。因果関係が証明されれば、だれかが補償や責任を取るようになります。その当時の最新の知識では防げなかった事故だったとの裁判上の常套手段は通用しないほど、原告側は理論武装するでしょう。 どちらにしても、まずは国民の100%の安全を第一に考えた対応をお願いします。 廃炉を進めるにしても、多くの仕事があるため、当分は原子炉の廃炉に多くの費用と人員が必要だと思えます。はやく決断し着手してください。そして、効率の高い発電・送電と消費効率の向上等色々な角度から全体を検討される頭脳明晰な方々の活躍を期待します。
10452	料金の半額化、総括原価方式の見直し、原子力発電での安心・安全で、災害補償対策、原子力ゴミ実解決、当面は複合火力発電、地域独占と発電・送電の分離、健全な競争経営等様々な改革が必要である。	日頃から以下のような意見をもっているのので、改革してほしい。 1 世界最高水準の電気料金を半分(韓国程度)に程度にしてほしい。そうして、国民・企業から喜ばれる仕組みを強力に改革する。原発の電原価の見直しをしているが、料金はこそりに上げているが全て国が審議会で決定する。 2 独占企業なので厳しい営業努力しなくてもいいので、総括原価方式はガス会社等を含めて断じて許せない。政界・経済界・自治体に献金・寄付行為ではなく、しっかり安心・安全対策、被害保障対策に当てるのが妥当である。 3 原子力発電は地震・津波に相当強い安心・安全設計に改善しないなら再起動させてはならない。まして、危険で事故を起こしたナトリウム冷却・制御不安定なプルサーマル発電とMOX燃料使用は生命危険度が大きい。さらに、肝心の原発放射能汚染防止ゴミ対策が未解決のままである。原子力発電所は、そのエリアとし、全電力会社職員・法人職員は原発周辺が勤務場所にすべき。 4 効率がよい二酸化炭素排出が少ない「複合火力発電」を原子力予算により配置して発電すべきである。二酸化炭素固定回収・活用と組み合わせで。 5 原子力を含め資材購入は一般競争が少なすぎる。さらに、地域独占制を止め発電と送電を分離する。各関連企業が容易に参入できる環境にする。なお、送電の賃借量は低料金にしてどうどうと競争経営できる体制にしてほしい。 最後に、「やらせ」で問題の九電社長。第三者委員会で指摘された「不利な資料の隠匿」、「辞任と国会で答弁をほのめかしたのに辞任せずと公表」「あくまでも券知事を守る姿勢」等々電力会社としての国民の信頼は益々がた落ちである。(削除)  ※新大綱策定会議(第1回)資料第3-2号「個人情報の保護その他について」の考え方にに基づき一部を伏せさせていただきました。

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10453	『もんじゅ』をまず停止すべき	過去の一部の記録されている以下の(1)と(2)の地震をみても、地震がなくても設備が壊れる事故を起こす『もんじゅ』は耐えられるとは思いません。 すぐに停止、廃炉にしてください。 (1)福井地震(1948年、昭和23)現在の震度に当てはめれば7の揺れであったと推定できる。福井市は、建物倒壊率が約80%という甚大な被害を受けた。死者は福井県で3278人、石川県で41人の合計3769人。 (2)北丹後地震(1927年、昭和2)2992人という多くの犠牲者を生んだ。 地震計の記録では、現在の震度にして6程度だが、被害の状況から見て、震源付近では震度7程度の揺れがあったとみられる。京都府峰山町(現在の京丹後市峰山町)では全戸のほぼ9割が全壊もしくは全焼し、当時の人口の4分の1に当たる1094人も犠牲者を出している。
10454	「もんじゅ」を廃炉にしてください。高速増殖炉から撤退してください。	もんじゅは以下の点で非常に危険度が高い。 1. 冷却材として使われているナトリウムは水と接触すると水素を発生し爆発する。ナトリウムは空気と反応して燃焼する、コンクリートと反応して爆発する。 2. 地震、事故で、原子炉1次冷却系ナトリウムが抜けたときは、すぐメルトダウンになってしまう。福島第1のように外部から海水、水を注入するとナトリウムが爆発するのでメルトダウンを防ぐことができない。 3. 建物内には窒素が入れているらしいが、地震などで建物にひびが入り空気が入ってきて、ナトリウムが漏れた場合、火災、爆発が発生する。この場合、消防水をかけるとナトリウムが爆発するので、水もかけられない。 このように地震や、事故が発生した場合、メルトダウンとなる危険性が非常に高い「もんじゅ」の廃炉、高速増殖炉開発、研究からの撤退を求めます。
10455	原子力発電を止めていく政策にしてほしいです。	
10456	(削除)原発反対 ※新大綱策定会議(第1回)資料第3-2号「個人情報の保護その他について」の考え方に基づき一部を伏せさせていただきました。	
10457	今なら間に合う。	今ならギリギリ間に合うと思います。 原子力から、太陽光発電推進に方向を変換すれば、国民の人気もお金儲けも、世界での評価もうなぎ登りになると思います。 がんばりましょう！

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10458	<p>発電を原子力に依存するのは、止めて欲しい。原子力では、核廃棄物や、事故処理など、将来へ残す負の要素が大きすぎる。風力、水力、太陽光、温泉熱、地熱……クリーンなエネルギーをもっと開拓して欲しい。原子力を後押ししてしまう原因は、大手電力会社に独先させる社会のしくみにある。この社会のしくみを変えて欲しい。</p>	<p>私は、一般の主婦です。 だから、明日を生きる人が、健康で、普通に小さな幸せを感じる世の中であって欲しい。 特別に、大金持ちだったり、他の国より経済が高水準である事は、のぞんでいません。 むしろ、世界の人々と、ともに健康に過ごせるよう、楽しいひと時を過ごせるよう、100年後も200年後も、人が人らしく生きていることを心から願っています。 その為に、今こそ、原子力を止める勇気をお願いします。</p>
10459	<p>前略</p> <p>同封の署名綴りの初ページに添付の趣意書の如く、「原発廃止訴訟」提出の為、内閣府宮内庁皇宮侍従長様宛に送付致しましたもので、御返電ありて、天皇陛下は象徴であられるので、御奏上申し上げることは出来ないの、種々協議検討の結果返送するが署名綴りについては然るべく最適な機関に提出される様にとのお言葉があり、種々模索中でしたが、今回新内閣発足により原子力問題にも十分対応してゆく部署が判りましたので、念の為、宮内庁皇宮侍従長様宛の奏上書のコピーを同封致しました。又、私の住民票も同封致しましたので何卒署名者一同の微意お汲み取り御検討の上、資料としてお取り扱い下さいませようお願い申し上げます。</p> <p>平成23年9月吉日</p> <p>(削除)</p>	<p>皇宮侍従長殿</p> <p>謹んで申し上げます。(削除)突然に陳情書及び署名綴りを差し出しましたる御無礼を何卒御寛容下さいませ様御願い申し上げます。さてすでに「テレビ」「新聞」等にてご案内のごとく此度東日本大震災により「福島原子力発電所」も大損壊致し、その放射能の被害は恐ろしく且又重大にて更に尚日本国内に五十余ヶ処の同様な発電所を有しますことは、それらが災害のみならず年々老朽化による損壊等を思います時 正に国難の始まりのごとく これからの日本の将来を支える人々に起るであろう状況を考えます時、このまま看過致すこと耐えがたくここに「原子力発電廃止」の訴状 並びに その意に賛同する人々の「署名綴り」を提出して御願い申し上げます。</p> <p>恐れ多くも国父、国母にあらせられます天皇皇后両陛下様の御宸襟をお悩ませ奉ることは勿体なききわみに存じあげますが、何卒侍従長様のお取り計らいに御すがり致しまして、御奏上、御上覧賜りますれば 以て本望にて有難き幸でございます。</p> <p>尚 同封の署名者は千二十五名皆心を一につに友人知己との絆をつないで集まりましたものにて一同の心が宮中より天にも通じ やがて「原発廃止」のきっかけの一つともなりますれば有難く一重に次代の子孫達の為 祈念しての事でございます。浅学菲才拙筆拙文を厚顔にも御目にかけ 誠に失礼の段 伏して御詫び申し上げます。御用繁多の御身柄恐れ入りますが 微意御汲取の上 御取計らい給わりたく 御願の條を申し納めまいらせませす。</p> <p>(削除)</p> <p>※新大綱策定会議(第1回)資料第3-2号「個人情報の保護その他について」の考え方にに基づき一部を伏せさせていただきます。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10460	<p>可及的速やかに原発全廃。現状の経済活動、社会生活レベルありきでの議論ではなく、我々の生活様式の見直しにより、総電力需要の縮小を図る事によって出来る限り代替エネルギーにすら頼らなくて済む社会生活を目標とすべき。</p>	<p>今後国が総力を挙げてどんなに原発の安全性を向上させても未曾有の自然災害のみならずテロ攻撃の可能性など、原発が抱えるリスクをゼロにすることは不可能と思われる為、出来る限り早い段階で原発を全廃すべきだと思います。</p> <p>そして「現状の経済活動、社会生活レベルの維持ありきの電力需要」を起点に物事を考えるのではなく、これを契機に「我々人類の社会生活を見直すことによる無駄な電力消費を減らす努力をし、結果それで不足する部分に対して代替エネルギーでどれだけ賄えるか？」という順序で検討していくべきではないでしょうか？</p> <p>それは決して「100年前、200年前の生活に戻せ！」等といった乱暴な話ではなく、「必要以上に便利になり過ぎた物、過剰なサービスを排除していく」事から始めて行けばいいのではないのでしょうか？今夏の節電において「実はこれって無くても(点いてなくても)全く困らない？」という物が沢山あった事にも気付かされました(供給過剰な自動販売機、高速道路沿いの照明、地下鉄構内の照明等など)。</p> <p>これらは公共事業の無駄遣いや我々消費者側にも責任がある過剰なサービス競争の産物ですので、早急に見直すべきだと思います。その結果どうしても足りない分に関してだけ「代替エネルギー」について検討を深めて行く、という順序では無いでしょうか？</p> <p>同時に「節電」を企業に義務付ける場合には、業種の特性などを十分に加味した上でメリハリを付けるべきだと思います。節電が死活問題となる業種まで一括りに規制すべきではないと思います。とにかく、「まずは無駄な電力使用を極力減らし、どうしても必要な箇所にはしっかりと電力供給する。その結果不足する部分に対して代替エネルギーでどれだけ対応できるか？」ということではないのでしょうか？</p> <p>いずれにしましても、こうした国民からの意見集約というアクションが政府としての単なるパフォーマンスに終わらない事を心から願います。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10461	トリウム溶融塩原発検討の提言 2011.10.7	<p>これからのエネルギー政策を考える上でトリウム溶融塩原発をぜひ検討対象にすることを提言する。本原発がもし採用されていれば福島第一原発事故はおこらなかったということである。詳しくは「原発安全革命(文春新書、2011.5古川 和男著)」に書かれている。本提言はこの本を元に行うものである。この本によればトリウム原発は米国のオークリッジ国立研究所で開発され1965年6月から1969年9月まで約3年3か月の間実験炉(出力7000kw)で安全に運転され、その後日本でも100余名の国会議員がトリウム原発推進議連を結成したとのことである。</p> <p>その後立ち消えになったのは軽水型ウラン炉原発が原爆材料としてのプルトニウムが得られるため冷戦さなかで米国はウラン型原発に傾斜していったことが原因のようである。</p> <p>今後のエネルギーを考える上でもう一度このトリウム溶融塩原発(以後トリウム型原発)を避けてはいけなないのでないか。放射性廃棄物が出るので、やはり自然エネルギーに置き換えられるまでの繋ぎとして現在のウラン型原発に替わるものとして位置つけたらどうか。その理由は、エネルギー事情を考える限り、原発は当面必要であるが現在のウラン型原発より大きなメリットがある。</p> <p>①ウラン型原発では反応副産物としてプルトニウムができ、使用済燃料を再処理して、これを高速増殖炉「もんじゅ」で燃やして再び使用するという燃料サイクルの確立が現在の原子力政策の基本である。高速増殖炉は冷却材としてナトリウムを使うため漏れ問題等でトラブル続きで世界でも日本だけが研究を続けているが、完成目標は延びに延びて2050年としているが、完成の目途は立っていないのに毎年巨額(数百億円)の金が振り向けられている。またナトリウムを使うため今回のような福島第一原発のような電源喪失事故が起こったら、手がつけられず福島以上の災害につながる。トリウム型原発はプルトニウムが発生せず、逆に今日本に4500トンもあるプルトニウムを燃料として燃やして消費できる。高速増殖炉に使う予算を振り向ければ、トリウム型原発の実用化が可能となる。すでに実証炉が米国であるので、まったくの新規開発とならずそれほど実用化には金はかからない。</p> <p>②資源的にはトリウムはウランほど偏在しておらず、量的にも数倍ある。繋ぎのエネルギー資源としては十分である。インド、ブラジル、オーストラリア、インドネシア、米、中国、南アフリカ等で産出しエネルギー資源安保上ウランより安全である。</p> <p>③ウラン型原発は固体の燃料を使うため、使用していくと熱と核反応で損傷を受けるので定期的に操業を止め補修が必要であり、維持に手間(金と時間)がかかる。また福島第一原発で、起こったように電源喪失で冷却水がなくなると溶融(メルトダウン)して、かつ高温、高圧のためベント操作(放射性ガス排気)で外部に放射能が漏れ大被害が発生する。燃料被服材のジルコニウムから水素が発生し、水素爆発が起こる。</p> <p>トリウム型原発は燃料が最初から溶融しているので操業を止めて修理する必要が無く維持管理が容易。地震が起こった場合、溶融燃料を反応が持続する場所(黒鉛炉)から下の場所に移せば反応は止まる。常圧操業(温度は600度)なので、圧力を逃がす必要がない。現在のウラン型原発では、地震等の非常時に核反応を止めるには数十本の制御棒を燃料集合体の上または下から挿入する方式であるが、地震により燃料集合体に変形または位置ずれ等が起こった場合うまく挿入できない可能性がある。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由																																							
10461	トリウム溶融塩原発検討の提言 2011.10. 7(続き)	<p>またウラン型のように燃料被服材のジルコニウムからの水素発生ははないので福島第一原発で起こったような水素爆発も起こらない。 ④ウラン型原発は反応効率が悪く(核分裂時に生じる2個の中性子うち1個は反応に1個は制御棒に食われる)燃料装着が核反応量の2倍必要であるが、トリウム原発では中性子が燃料増殖に有効に活用されるので、当初燃料装着量が必要量だけで済み設備容量を小型にできる。 以上のようなメリットがあるので、ウラン型原発をこのまま続けて、見込みのない燃料サイクルの確立を目指すより、プルトニウムも減らせる安全なトリウム原発をウラン型原発で古くなって廃炉する場所で作る施設を生かして採用するのが良いのではないかと。</p> <p>得失をまとめると(他の要素も追加して)次のようになる。</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td>従来のウラン型原発</td> <td>今回提言のトリウム型原発</td> </tr> <tr> <td>①プルトニウム発生</td> <td>有</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>②プルトニウム消費 (燃料サイクル)</td> <td>高速増殖炉開発必要 (必要)</td> <td>即可能 (不要)</td> </tr> <tr> <td>③資源</td> <td>少なくまた偏在</td> <td>ウランの数倍で広域にあり</td> </tr> <tr> <td>④放射性廃棄物</td> <td>有</td> <td>有(ただしプルトニウム無)</td> </tr> <tr> <td>⑤維持管理</td> <td>定期停止点検必要</td> <td>容易(定期停止点検不要)</td> </tr> <tr> <td>⑥水素爆発</td> <td>危険性あり</td> <td>危険性なし</td> </tr> <tr> <td>⑦地震時の核反応停止</td> <td>不確実(制御棒動作)</td> <td>確実(燃料液体分離)</td> </tr> <tr> <td>⑧炉内状況</td> <td>高温高圧</td> <td>低温常圧</td> </tr> <tr> <td>⑨メルトダウン危険</td> <td>有</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>⑩ベントによる放射能被害</td> <td>有</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>⑪今後の開発費用</td> <td>莫大(高速増殖炉開発)</td> <td>実証炉あるので少ない</td> </tr> <tr> <td>⑫新增設</td> <td>福島事故のため殆ど不可</td> <td>小型で廃炉跡地利用可</td> </tr> </table>		従来のウラン型原発	今回提言のトリウム型原発	①プルトニウム発生	有	無	②プルトニウム消費 (燃料サイクル)	高速増殖炉開発必要 (必要)	即可能 (不要)	③資源	少なくまた偏在	ウランの数倍で広域にあり	④放射性廃棄物	有	有(ただしプルトニウム無)	⑤維持管理	定期停止点検必要	容易(定期停止点検不要)	⑥水素爆発	危険性あり	危険性なし	⑦地震時の核反応停止	不確実(制御棒動作)	確実(燃料液体分離)	⑧炉内状況	高温高圧	低温常圧	⑨メルトダウン危険	有	無	⑩ベントによる放射能被害	有	無	⑪今後の開発費用	莫大(高速増殖炉開発)	実証炉あるので少ない	⑫新增設	福島事故のため殆ど不可	小型で廃炉跡地利用可
	従来のウラン型原発	今回提言のトリウム型原発																																							
①プルトニウム発生	有	無																																							
②プルトニウム消費 (燃料サイクル)	高速増殖炉開発必要 (必要)	即可能 (不要)																																							
③資源	少なくまた偏在	ウランの数倍で広域にあり																																							
④放射性廃棄物	有	有(ただしプルトニウム無)																																							
⑤維持管理	定期停止点検必要	容易(定期停止点検不要)																																							
⑥水素爆発	危険性あり	危険性なし																																							
⑦地震時の核反応停止	不確実(制御棒動作)	確実(燃料液体分離)																																							
⑧炉内状況	高温高圧	低温常圧																																							
⑨メルトダウン危険	有	無																																							
⑩ベントによる放射能被害	有	無																																							
⑪今後の開発費用	莫大(高速増殖炉開発)	実証炉あるので少ない																																							
⑫新增設	福島事故のため殆ど不可	小型で廃炉跡地利用可																																							
10461	トリウム溶融塩原発検討の提言 2011.10. 7(続き)	<p>(参考) オークリッジのトリウム溶融塩実験炉の概要(「原発安全革命」より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出力 7300kw</li> <li>・燃料 トリウム7(99.992%濃縮) プルトニウム239 540g</li> <li>・溶融塩 LiF(65mol%)-BeF2(30mol%)-ZrF4-UF4 (融点434度) 650度で操業</li> <li>・黒鉛炉(1400mm径*1600mm)</li> <li>・冷却材(ウラン型軽水炉の水) Li2BeF4</li> <li>・実験期間 1965.6 臨界～1969. 12:26、000時間無事故</li> </ul> <p>以上</p>																																							

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10462	<p>1. 原発は10年後までに全廃する。                  2. 核燃料サイクルは中止する。                  3. 使用済核燃料は、使用した発電所に永久保管する。                  4. 代替エネルギーはLNGコンバインド・サイクル発電を優先し、続いて太陽光発電を拡充する。</p>	<p>1. 福島原発事故で「原発の安全神話」は崩れた。一旦、過酷事故が起きると、今回程度の放射能被害は避けられない。日本は自然災害多発国で、50～100年に一度は今回のような事故は避けられない。従って、原発は設置すべきではない。                  2. したがって、核燃料サイクルは不要になる。                  3. 「高レベル廃棄物の埋設処理方針」がありながら、埋設地が決まる可能性は今後も無い。したがって、使用済み核燃料などは、それを発生させた発電所に保管せざるを得ない。                  4. 発生熱に対する発電効率は原発の30%に対して50%のコンバインド・サイクル発電を第一の代替とする。10年をかけて全国の一戸建て住宅の50%に3kw以上の、集合住宅の50%にも一戸当り3kw以上の太陽光発電装置を設置する。                  5. その他は、添付資料をご参照ください。</p> <p>2011年10月10日                  今後の原子力発電のあり方-原子力大綱見直しへの意見</p> <p>1. 基本的な考え方                  (1)原子力発電は徐々に廃止し、10年以内に全廃する。したがって、高速増殖炉を中心とした核燃料サイクルは中止する。                  (2)原子力に代わる電気エネルギー源として、先ず天然ガスを燃料としたコンバインド・サイクル発電システムを拡大する。                  (3)さらに、自然エネルギー発電として、太陽光発電を大幅に増やす。なお、風力発電は自然環境を損なわない範囲で拡大し、地熱発電は着実に開発する。                  (4)原子力発電で発生した使用済み核燃料は、原則としてそれが発生した発電所の敷地内に永久保管する(少なくとも10万年)。</p> <p>2. 原子力発電への対応                  2. 1原子力発電の再評価                  原子力発電は全ての発電方式の中で最も単価が安く、しかも地球温暖化の原因となる二酸化炭素を出さない長所があるという前提で推進されてきた。しかし、このような考え方には問題があると指摘されている。                  (1)発電単価の再計算                  現在の単価には使用済み核燃料の再処理費用と廃炉処理費が含まれていると言われているが、不十分との指摘がある。さらに、今回の過酷事故にともなう賠償費用は全く含まれていないし、過酷事故を起こした原子炉の廃炉処理は健全な炉に比べて、はるかに費用がかかると考えられる。さらに、立地促進のために税金から支払われている交付金も、本来は原価に入れるべきである。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10462	<p>1. 原発は10年後までに全廃する。                  2. 核燃料サイクルは中止する。                  3. 使用済核燃料は、使用した発電所に永久保管する。                  4. 代替エネルギーはLNGコンバインド・サイクル発電を優先し、続いて太陽光発電を拡充する。                  (続き)</p>	<p>したがって、これらを含め、すべての検討に先立ち、原価を再度計算し直すべきである。</p> <p>(2)原子炉の熱発生過程では、原理的に二酸化炭素を排出しない。しかし、火力発電に比べて発電効率が悪く、原子炉で発生した熱の66%は廃熱として海に放出され、発電に寄与しているのは33%である。したがって、海に捨てられた熱量は地球温暖化を促進しているの                  で、他の火力発電方式による二酸化炭素発生量に換算し、原子力発電の等価二酸化炭素発生量として再評価すべきである。</p> <p>2. 2継続運転に対する条件</p> <p>(1)2011年3月11日に発生した福島第1原発の事故により、「原発の安全神話は完全に崩壊」した。したがって、全ての原発が廃炉されるまで運転される原発は、事故を起こす可能性があることを前提とする。</p> <p>(2)原発の新規の稼働は行わない。したがって、原発の建設工事中はすべて中止する。</p> <p>(3)現在稼働中(検査のため運転停止中のものを含む)の原発のうち、次のものはすみやかに廃炉にする。</p> <p>a. GE社製のマーク1型に相当する原発。                  b. 当初の設計耐用年数(30年または40年)を越えた原発。耐用年数を越えて延長運転が承認された原発も同様とする。                  c. 今後発生が想定されている巨大地震によって大きな被害が予想される場所に立地している原発、例えば中部電力浜岡原発など。</p> <p>(4)今後、運転を継続する原発は、次の条件を満たすこと。</p> <p>a. 新たに想定される最高強度の地震と、最大の津波、最強の暴風雨など、最大の自然の災害に耐えられること。                  b. 全電源喪失など、最悪の非常事態にも対応できる対策が施されていること。                  c. 運転員は、最悪の非常事態に対応できる訓練を受けていること。                  d. 最悪の事故に対応したハザード・マップを作成し、これを元に周辺住民が対応すべき訓練を定期的を実施すること。</p> <p>2. 3使用済み核燃料など放射性物質の取扱い</p> <p>(1)核燃料サイクル関連施設の閉鎖                  10年後には原子力発電所を全て廃止するので、核燃料サイクルの存在意義はなくなる。したがって、高速増殖炉、核燃料サイクル関連施設は閉鎖する。</p> <p>(2)使用済み核燃料の処置</p> <p>a. 高レベル、低レベルにかかわらず、使用済み核燃料および原子力関連施設から出た放射性物質の処理は地中埋設処理を基本とする。                  b. これまでの経緯を考えると、地中埋設処理ができる新たな場所を国内に見つけられる可能性は殆ど無い。したがって、各原子力発電所で発生した使用済み核燃料は、各発電所の構内に長期間(10年以上)保管することを原則とする。具体的な方法は今後、研究する。                  なお、この方針は電力会社と立地自治体の間で結ばれている立地協定に反するので、関係自治体を説得する必要がある。</p>



国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10462	<p>1. 原発は10年後までに全廃する。                  2. 核燃料サイクルは中止する。                  3. 使用済核燃料は、使用した発電所に永久保管する。                  4. 代替エネルギーはLNGコンバインド・サイクル発電を優先し、続いて太陽光発電を拡充する。                  (続き)</p>	<p>2. 4研究開発体制の見直し                  今後の原子力に関する研究開発は、次のものに限定する。                  (1)現在、稼働中の炉の安全性向上に寄与するもの。                  (2)運転を停止した原子炉の廃炉技術に関するもの。                  (3)使用済み核燃料を中心に、原子力関連施設から出た放射性物質の長期保管(10万年以上)技術に関するもの。                  (4)福島第一原発事故により、発電所外で発生した放射能汚染物質や除染で除去した土などの処理、長期保管方法に関するもの。                  (5)核分裂を利用した現在の原子炉に続く技術として研究開発されている核融合技術は難易度が高く、また問題も非常に多いので、中止を含め別途、再検討する。</p> <p>3. 代替エネルギーに対する考え方                  我が家では1996年12月に公称3.1kwの太陽光発電装置を導入し、1997年1月から本格的な稼働に入った。途中、小さなトラブルがあったものの、15年目に入った今年2011年も順調に発電している。その間、発電電力量の約40%を自宅で消費し(従って60%は中部電力の販売)、全消費電力量の約31%を太陽光発電でまかってきた。これは、原子力発電が全廃されても対応できることを示している。                  このような経験をもとに、原子力に代わる電源として、次のように提案する。</p> <p>3. 1従来の発電所                  (1)石炭や重油を燃料とした効率の悪い旧型の火力発電所はできるだけ早く廃止し、効率が50%を越えるようになったLNGによるコンバインド・サイクル発電所を拡充し、これを火力発電の主力とする。                  (2)ダム式発電所のうち、揚水発電所はエネルギーの一時貯蔵用として維持し、その他のダム式水力発電所はダムに溜まった土砂を定期的に除去し、当初の発電量を確保しながら運転を継続する。</p> <p>3. 2自然エネルギー利用の拡大                  3. 2. 1太陽光発電の本格的な普及                  (1)10年後までに、全国の戸建て住宅の50%に3kw程度の太陽光発電を設置することを目指す。                  (2)10年後までに、集合住宅の50%に1戸当り3kw程度の太陽光発電装置を設置することを目指す。                  (3)全国の公共建築物には、最大限の太陽光発電装置を設置する。                  (4)メガ・ソーラ発電など、大規模太陽光発電所の設置を推進する。</p> <p>3. 2. 2風力発電への取り組み                  設置場所の環境悪化やバード・ストライクなどに十分配慮しながら、設置を進める。特に山岳地帯では、設置場所造成と工事用道路建設のため、大量の樹木の伐採などの環境破壊があるので、十分に注意すること。</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10462	<p>1. 原発は10年後までに全廃する。                  2. 核燃料サイクルは中止する。                  3. 使用済核燃料は、使用した発電所に永久保管する。                  4. 代替エネルギーはLNGコンバインド・サイクル発電を優先し、続いて太陽光発電を拡充する。                  (続き)</p>	<p>3. 2. 3地熱発電                  国立公園内での環境規制を一部緩めながら、着実に推進する。                  3. 2. 4その他の小規模発電の普及                  地域によっては、次の対策を行う。                  (1)水利権問題を早期に解決し、小水力発電を普及させる。                  (2)間伐材が豊富な地域では、これを燃料とする小規模火力発電を普及させる。                  3. 2. 5その他の自然エネルギー利用の促進                  (1)我が家では、3～10月の8ヶ月間は太陽熱温水器による温水で炊事用、風呂用の温水の80%以上をまかなっている。したがって、太陽光発電装置の普及に合わせて太陽熱温水器の併設をすすめ、総合的な消エネルギーを進める。                  (2)地域によっては、貯蔵した雪を使った冷房や、地中熱を使った冷暖房を推進し、総合的な消エネルギーを進める。</p> <p>5. 立地自治体の財政と雇用への対応                  原子力発電の廃止は、立地自治体の財政が原発関連の膨大な補助金や税金に過度に依存してきたことおよび原発に関連した多くの仕事に地域住民が従事してきたことから、これらを失うことにより自治体や地域社会が存立できなくなる恐れを感じているからである。したがって、次の事項を検討して将来、立地自治体の財政や地域の雇用をどの程度、維持できるかを示す。</p> <p>5. 1立地自治体の財政問題                  (1)運転を停止した原子炉については、完全に廃炉処理が終わるまでの期間も一定の固定資産税または何らかの税金を徴収する。                  (2)廃炉の終了後、発電所敷地には使用済み核燃料などを、10万年を越える長期間、保管することになるので、これら放射性物質に対しても、放射線の放出量に対応した特別の地方税を課税する。                  (3)関係自治体は、10年後をめどに、原発に依存しない財政構造に転換する。</p> <p>5. 2地域の雇用                  (1)原子炉の運転停止後も廃炉処理に関する仕事が長期間発生するので、この間の地域住民に対する雇用の可能性を試算し、地域に示す。                  (2)使用済み核燃料などを長期間、保管・管理するために必要な業務に対する地域住民の雇用の可能性を試算して、地域に示す。</p> <p>以上</p>

国民の皆様から寄せられたご意見（期間：平成23年9月21日～平成23年10月19日）

番号	ご意見の概要(100字以内)	ご意見及びその理由
10463	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中立な立場での議論を</li> <li>2. 国民意見を反映してください</li> <li>3. 冷静・現実的な議論を</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 委員の皆さんの考え方が原子力委員会のホームページ上に紹介されていますが、全ての委員の方が原子力発電推進の立場とお見受けします。個人の考え方は尊重されるべきですが委員会としての議論においては原子力発電の利用を前提としたしり、あらかじめ決められた方向に議論を誘導することなく他の新大綱策定会議構成員の皆さんや国民から寄せられる意見に耳を傾け公正・公平な議論を尽くされることを希望します。</li> <li>2. 原子力委員会では原子力政策に対する国民の意見を募集しています。3/11以降はもちろん、3/11以前に寄せられた意見を見ても原子力発電に対して慎重、または批判的な意見が大半を占めています。中立的な立場で国民の意見を政策に反映すれば結果は自ずと脱原発の方向へ向かうはずで、見せかけの意見募集ではなく、国民の意見を政策に反映する努力をしてください。</li> <li>3. 原発推進の立場の方々の方が多くが「エネルギー政策は冷静に現実的な議論を。」とおっしゃいます。この根底には、反原発の意見があたかも感情的でヒステリックな反応であるかのような一方的な見方があると思います。しかし、原発事故の結果、長年人の住めない土地が生まれ、多くの人が故郷を追われ、食物に対する不安が生まれ、製造業・観光業は打撃を受け、除染のための多額の費用が国家財政を圧迫しています。これが「現実」です。原発推進を主張する人々こそ、この「現実」から目を背け、ヒステリックに原発＝既得権益にしがみついているように見えます。節電や新エネルギーの活用により原発のない社会を実現できる「可能性」も示されている今日、これらの「現実」「可能性」を見据えた「冷静」な議論がなされることを希望します。</li> </ol>